

# 日本教育社会学会

The Japan Society of Educational Sociology

## 第69回大会プログラム

2017

平成29年10月

21日(土)・22日(日)



一橋大学  
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

お詫びと訂正 (2017 年 11 月 2 日)

大会校の手違いにより、大会プログラム 49 頁、Ⅳ—3 部会 (学力) の西本裕輝会員・馬居政幸会員のご報告、「沖縄における離島と本島間の学力格差—学力調査 が及ぼした影響に焦点をあて—」の連名者に記載漏れがありました。大変申し訳ございませんでした。

当該頁を修正した改訂版の PDF を学会ウェブサイト公開するとともに、関係者のみなさまに改めてお詫び申し上げます。

日本教育社会学会・第 69 回大会実行委員会

## 現代社会の児童生徒指導

古賀正義・山田哲也・田中理絵  
金子真理子 2017年発行 ¥3,100+税

## 子ども・青年の文化と教育

岩田弘三・谷田川ルミ・岡田佳子・富江英俊  
熊田博喜 2017年発行 ¥2,600+税

## カリキュラム編成論 [改訂版]

田中博之  
2017年発行 ¥3,600+税

## 教育文化の社会学

稲垣恭子  
2017年発行 ¥2,600+税

## 道徳教育の理念と実践

押谷由夫・永田繁雄・新井浅浩・諸富祥彦  
西野真由美 2016年発行 ¥2,900+税

## カリキュラムと学習過程

浅沼茂・奈須正裕・北村和夫・成田幸夫  
久野弘幸 2016年発行 ¥2,700+税

## 学校と法 [改訂版]

坂田仰・岩橋健定・黒川雅子・山田知代  
2016年発行 ¥2,300+税

## 現代日本の教師

油布佐和子・岩立京子・佐久間亜紀  
元兼正浩 2015年発行 ¥2,700+税

## 幼児教育の指導法

師岡章・佐久間路子・田中浩二  
2015年発行 ¥2,700+税

## 人間発達論特論

住田正樹・田中理絵  
2015年発行 ¥3,200+税

## 教育学入門 - 教育を科学するとは -

岡崎友典・永井聖二・富江英俊・加藤理  
2015年発行 ¥2,600+税

## 乳幼児の保育・教育 [新訂]

岡崎友典・梅沢実・井上清美・押元信幸  
芦田川祐子 2015年発行 ¥2,300+税

## 教育の社会学

近藤博之・岩井八郎・木村涼子・中澤涉  
大和多直樹 2015年発行 ¥2,700+税

## 道徳教育の方法

堺正之  
2015年発行 ¥2,300+税

## 家庭教育論

住田正樹・天童睦子・田中理絵  
2012年発行 ¥2,400+税

## 地域社会の教育的再編

岡崎友典・夏秋英房  
2012年発行 ¥2,600+税

## 教育と社会

岩永雅也  
2011年発行 ¥2,600+税

## 現代教育改革論

江原武一・南部広孝・深堀聰子・  
服部美奈 2011年発行 ¥2,500+税

## コミュニティ教育論

岡崎友典・玉井康之  
2010年発行 ¥2,600+税

## 地域教育の創造と展開

岡崎友典・高島秀樹・夏秋英房  
2008年発行 ¥3,000+税

●ご希望の方に「図書目録」をお送りします。詳しくは [www.ua-book.or.jp](http://www.ua-book.or.jp)



一般  
財団法人 **放送大学教育振興会** TEL 03-3502-2750  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 FAX 03-3592-2482

# 目次

		(頁)
○大会日程	…	4
○ご案内	…	5
○大会会場へのアクセス (一橋大学 国立キャンパス)	…	8
○大会会場 構内案内図	…	9
○会場配置図(本館)	…	10
◇10月20日(金)	(会場)	(頁)
若手研究者交流会 (16:00～18:00)	佐野書院	13
◇10月21日(土)		
研究発表 I (9:30～12:00)	(会場)	(頁)
I-1 国際化と教育	22 番教室	14
I-2 大学生	23 番教室	15
I-3 高等教育制度	24 番教室	16
I-4 ニューカマー(1)	25 番教室	17
I-5 教育改革と教師	26 番教室	18
I-6 ジェンダー(1)	28 番教室	19
I-7 子どもと学習	32 番教室	20
I-8 東北からの教育	33 番教室	21
I-9 学校と格差	34 番教室	22
I-10 学校と学級	38 番教室	23
テーマ部会①	教育社会学的研究への公的統計データの活用	36 番教室 24
英語特設部会 I	Modernization and Post-modernization in Secondary Education	35 番教室 25



研究発表Ⅱ (14:10～16:10)		(会場)	(頁)
Ⅱ-1	問題行動	22 番教室	26
Ⅱ-2	子どもと福祉	23 番教室	27
Ⅱ-3	教育機会と能力	24 番教室	28
Ⅱ-4	親の教育期待	25 番教室	29
Ⅱ-5	社会構造と教育	28 番教室	30
Ⅱ-6	教員政策	32 番教室	31
Ⅱ-7	教育者と職業文化	33 番教室	32
Ⅱ-8	教育と政治	34 番教室	33
Ⅱ-9	歴史と思想	36 番教室	34
Ⅱ-10	学歴	38 番教室	35
英語特設部会Ⅱ	Recent Reforms and Empirical Analysis in East Asian Education	35 番教室	36
研究発表Ⅲ (16:20～18:20)		(会場)	(頁)
Ⅲ-1	教育問題	22 番教室	37
Ⅲ-2	不登校	23 番教室	38
Ⅲ-3	進路と教育	24 番教室	39
Ⅲ-4	メディアと文化	25 番教室	40
Ⅲ-5	教員の役割	32 番教室	41
Ⅲ-6	子育て戦略	33 番教室	42
Ⅲ-7	特別支援教育	34 番教室	43
Ⅲ-8	親の関わりと教育意識	36 番教室	44
Ⅲ-9	若者の生き方	38 番教室	45
英語特設部会Ⅲ	International Approach for Future Education in East Asia	35 番教室	46

◇10月22日(日)

研究発表Ⅳ (9:30~12:00)	(会場)	(頁)
Ⅳ-1 大学生とキャリア形成	22 番教室	47
Ⅳ-2 大学教育の効用	23 番教室	48
Ⅳ-3 学力	24 番教室	49
Ⅳ-4 中等教育の歴史と現在	25 番教室	50
Ⅳ-5 ジェンダー(2)	28 番教室	51
Ⅳ-6 カリキュラムと教育	32 番教室	52
Ⅳ-7 ニューカマー(2)	33 番教室	53
Ⅳ-8 貧困と教育支援	34 番教室	54
Ⅳ-9 地域と教育	35 番教室	55
Ⅳ-10 学校経営	38 番教室	56
テーマ部会② メディアと教育	26 番教室	57
テーマ部会③ 「教育と社会階層」研究とSSM調査	36 番教室	58

課題研究 (13:30~16:30)	(会場)	(頁)
Ⅰ 教員育成の「現場主義」の落とし穴について考える	26 番教室	59
Ⅱ 格差・不平等研究の今後:教育・家族・階層	36 番教室	60
Ⅲ 「子どもの自殺」をどう考えるか	31 番教室	61

# 大会日程

前日：10月20日(金)		
16:00	— 18:00	若手研究者交流会 佐野書院
第1日：10月21日(土)		
8:45	—	受付 本館玄関・ホール
9:30	— 12:00	研究発表Ⅰ・テーマ部会①・英語特設部会Ⅰ
12:00	— 12:55	昼食
12:55	— 13:40	総会 本館 31 番教室
13:40	— 14:05	学会奨励賞・国際活動奨励賞 授与式 本館 31 番教室
14:05	— 14:10	休憩・移動
14:10	— 16:10	研究発表Ⅱ・英語特設部会Ⅱ
16:10	— 16:20	休憩・移動
16:20	— 18:20	研究発表Ⅲ・英語特設部会Ⅲ
18:20	— 18:30	休憩・移動
18:30	— 20:30	懇親会 東生協力フェテリア
第2日：10月22日(日)		
9:00	—	受付 本館玄関・ホール
9:30	— 12:00	研究発表Ⅳ・テーマ部会②・テーマ部会③
12:00	— 13:10	昼食
13:30	— 16:30	課題研究Ⅰ 本館 26 番教室
		課題研究Ⅱ 本館 36 番教室
		課題研究Ⅲ 本館 31 番教室

# 各種会合

前日：10月20日(金)		
15:30	— 17:00	紀要編集委員会 職員集会所
15:30	— 17:00	研究委員会 職員集会所
17:00	— 18:00	常務会 職員集会所
18:00	— 20:00	理事会 職員集会所
第1日：10月21日(土)		
12:05	— 12:55	総会打ち合わせ 本館 31 番教室
第2日：10月22日(日)		
12:05	— 12:50	課題研究Ⅰ 打ち合わせ 本館 26 番教室
		課題研究Ⅱ 打ち合わせ 本館 36 番教室
		課題研究Ⅲ 打ち合わせ 本館 31 番教室
12:00	— 12:45	評議員懇談会 職員集会所
12:00	— 12:45	新常務会 職員集会所
12:45	— 13:30	新理事会 職員集会所

# ご案内

## 1. 会場

一橋大学・国立西キャンパス

〒186-8601 東京都国立市中2-1

(JR 中央線「国立」駅下車、南口より徒歩約10分)

(JR 南武線「谷保」駅下車、北口より徒歩約20分またはバス約6分)

○研究発表・課題研究・若手研究者交流会：西キャンパス本館

○各種会合：職員集会所

## 2. 受付

(21日) 午前 8 時 45 分より、本館玄関・ホールで受付を行います。

(22日) 午前 9 時より、本館玄関・ホールで受付を行います。

【大会参加費】 オンライン決済 会員(一般):4,500 円 会員(学生):2,000 円

当 日 会員(一般):5,500 円 会員(学生):3,000 円

臨時会員(一般):6,000 円 臨時会員(学生):3,000 円

【懇親会費】 オンライン決済 会員(一般):4,000 円 会員(学生):2,000 円

当 日 会員(一般):5,000 円 会員(学生):3,000 円

臨時会員(一般):5,000 円 臨時会員(学生):3,000 円

※会員(学生)、臨時会員(学生)の方は、大会受付で身分証をご提示ください。ご提示がない場合は、それぞれ会員(一般)ないしは臨時会員(一般)の参加費となりますので、ご注意ください。

※オンライン決済の期限は 10月10日(火)とさせていただきます

【要旨集録】 冊子版か USB 版のどちらかをお選びください。ただし参加者全員分を2種類用意することは難しいため、どちらかがなくなった場合は、ご希望にそえないことをご了解ください。USB を選んだ方のために、閲覧用として冊子版の要旨集録を会員控室にご用意します。

【名札】 受付で名札をお渡しします。所属・氏名をご記入ください。大会期間中の会場内では必ず名札をお付けください。

### 3. 発表時間

発表時間は、発表者の人数によって下記のようになります。

発表者 1 名……発表 20 分＋質疑応答 5 分

発表者 2 名以上…発表 40 分＋質疑応答 10 分

発表終了 5 分前に1鈴、終了時刻に 2 鈴、質疑応答終了時刻に 3 鈴の合図をします。発表時間は厳守願います。

### 4. 欠席の場合

発表者が欠席するときは、大会前日(10月20日)までに必ず、大会実行委員会に E-mail でお知らせください。

発表者が欠席の場合に、発表時間の繰り上げは行いません。

### 5. 発表者の方へ

#### カラー資料作成の手引き～色覚バリアフリーの実現にむけて～

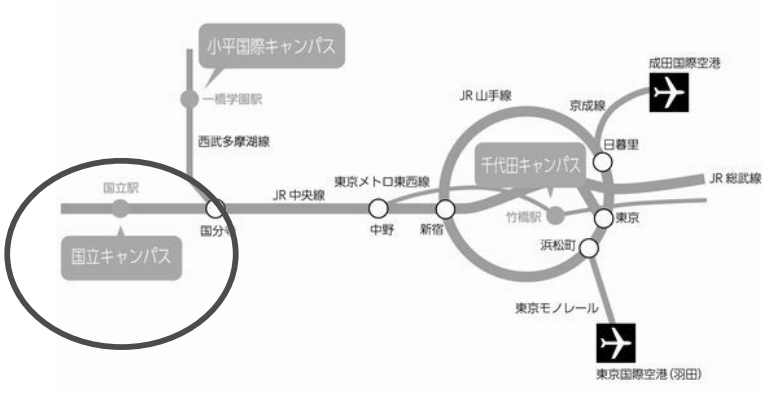
本学会では、学会発表や学会活動のさまざまな場面において「色覚バリアフリー」の実現をめざしています。色覚バリアフリーとは、色彩の識別が困難な人たちが一定の割合でいらっしゃるという科学的見地にもとづき、大会発表資料等におけるカラー色の使い方の配慮など、適切な工夫が必要であるという考え方です。誰にとってもわかりやすい資料提示をめざし、特にカラー資料の提示の際には、次の点にご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

- ①赤と緑の識別が困難な場合が多いので、配慮する。
- ②レーザーポインターは、緑のポインターが望ましい。
- ③明度の差を利用し、コントラストのはっきりした色の塗り分けを工夫する。
- ④輪郭線や境界線で、塗り分けの境を強調する。
- ⑤ひとつの図版に使う色数は、なるべく少なくする。
- ⑥対象箇所を各色で示さず、場所や形でも指定する。

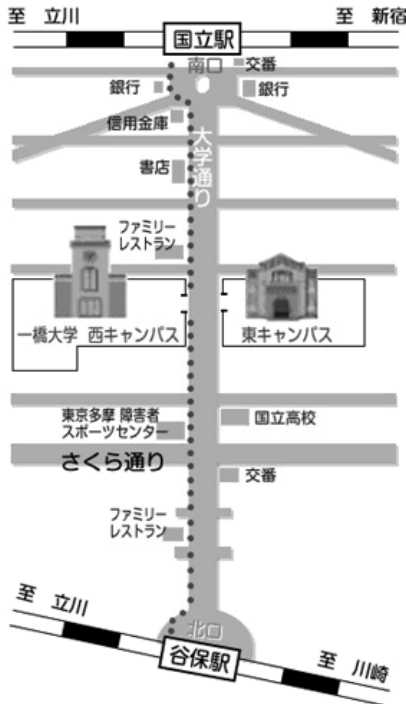
(例:この四角い赤のマークは…)

6. 資料のコピー 大会実行委員会によるコピーサービスは行いません。  
研究発表用の配布資料等は、各自で必要な部数をご用意ください。
7. 昼食 大会開催中(土・日)はキャンパス内の食堂は営業しておりません。キャンパス近隣の飲食店ならびにコンビニエンスストア等をご利用ください。
8. 会員控室 会員控室(本館2階・21 番教室)には、お茶・お菓子等をご用意しております。ご利用ください。
9. クローク 受付エリア(本館ホール)にクロークを設け、お荷物をお預かりします。  
ただし、貴重品は携帯してください。  
※クロークに預けられたお荷物は、21日(土)は 18:30 まで、22日(日)は 17:00 までに必ずお受け取りください。
10. 一時保育 一時保育のサービスを提供いたします(事前の申込みが必要です)。  
詳細は、大会ホームページの実施要領をご覧ください。
11. 懇親会 大会第1日、10月21日(土)18:30より、「東生協力フェテリア」で開催します。大会会場は西キャンパス、懇親会場は東キャンパスに位置しています。懇親会費については5ページをご参照ください。
12. 抜刷・資料交換 抜刷・資料交換コーナーを会員控室内(本館2階・21番教室)に設けます。
13. 書籍販売・企画展示 大会会場では、本館 2 階・20 番教室にて、書籍販売・企画展示を行います。

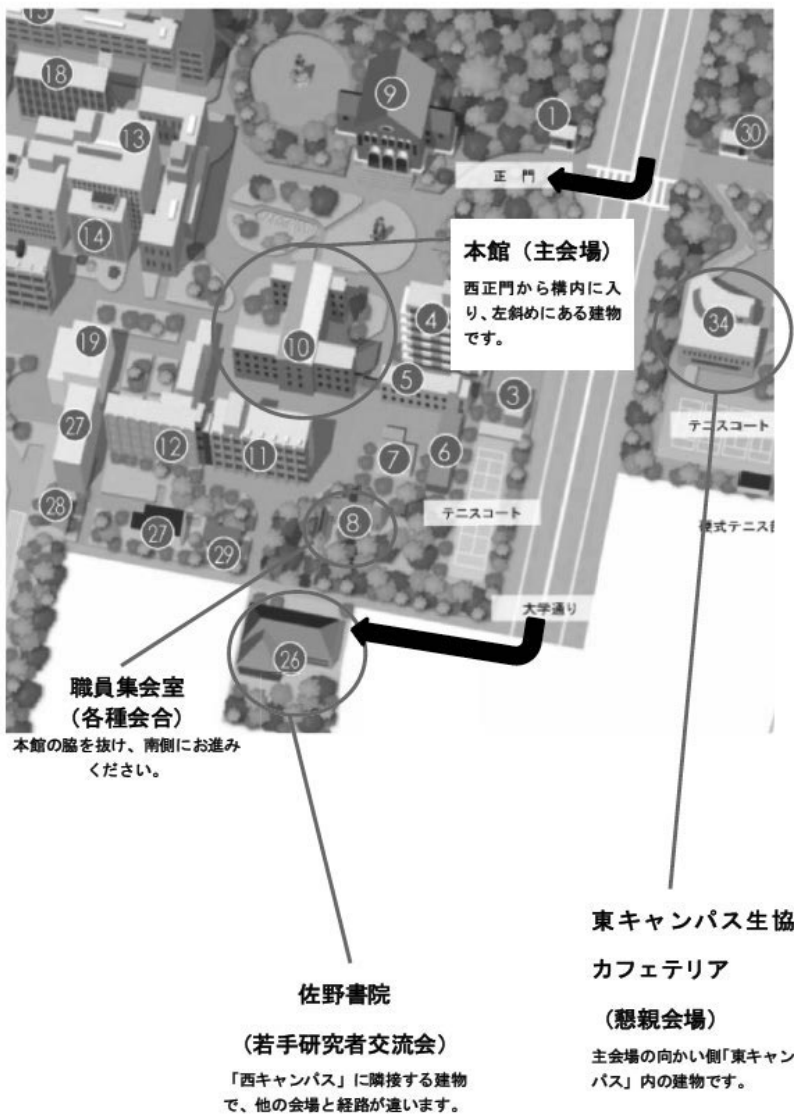
# 大会会場へのアクセス (一橋大学 国立キャンパス)



※JR中央線「国立」駅下車。南口より徒歩約 10 分  
(JR南武線「谷保」駅下車。北口より徒歩約 20 分または国立駅行バス約 6 分[一橋大学下車])

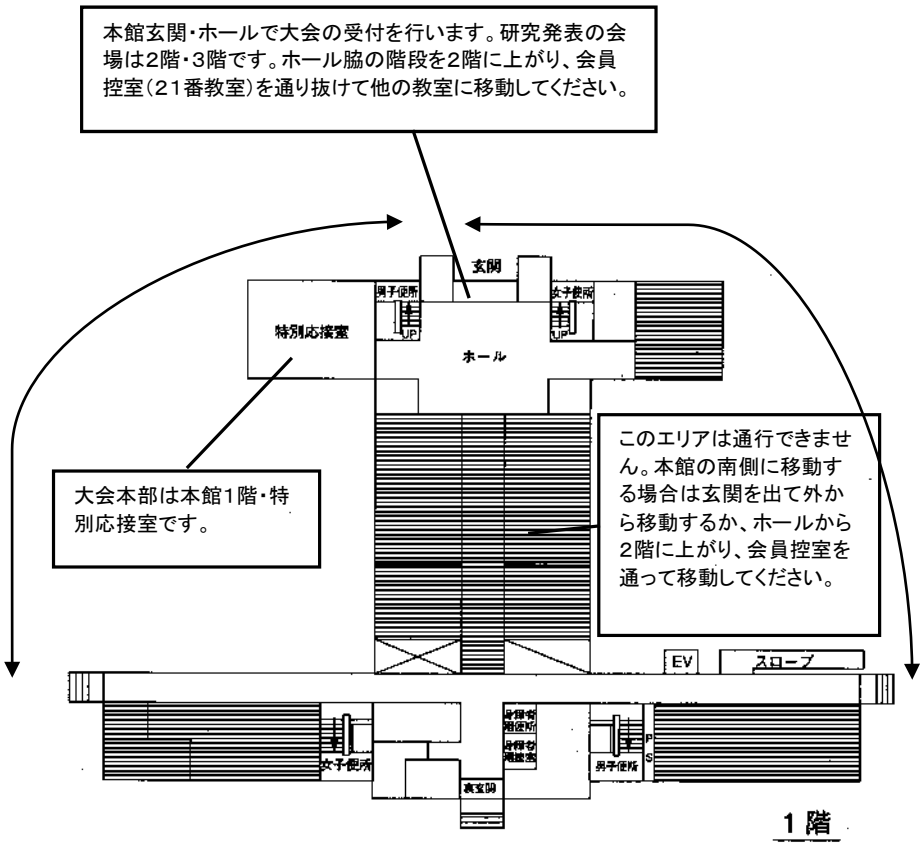


## 大会会場 構内案内図



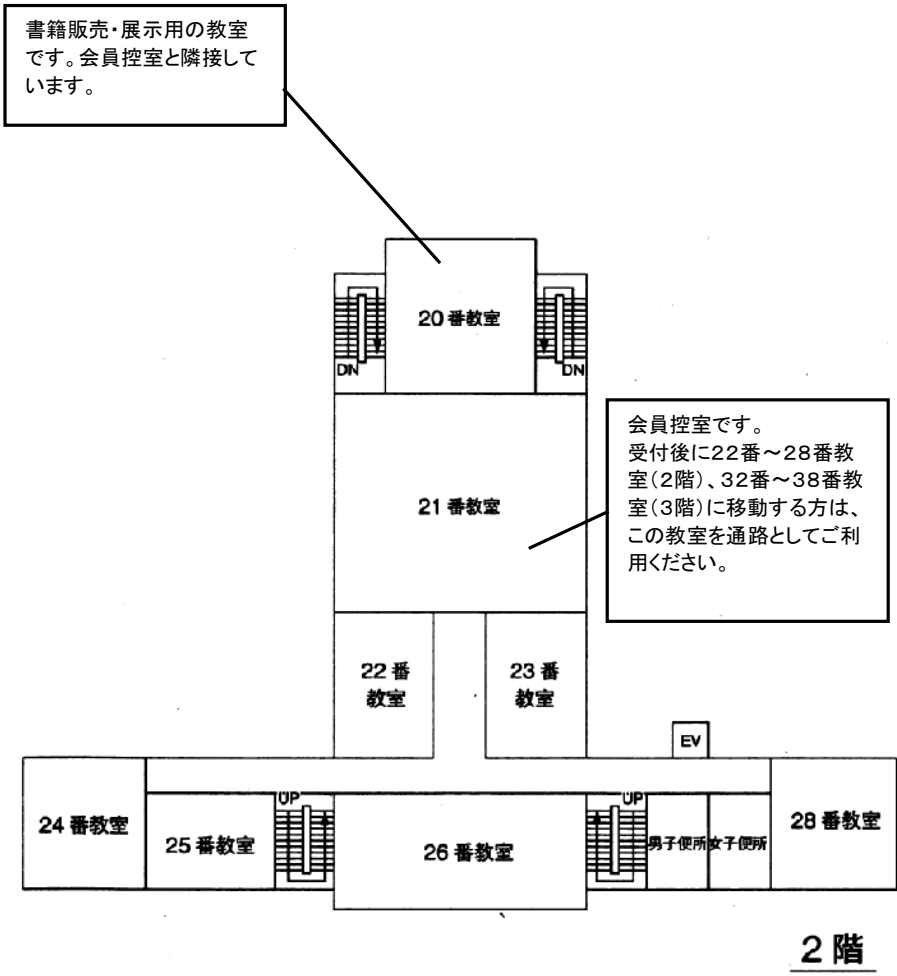


## 会場配置図（本館 1 階）

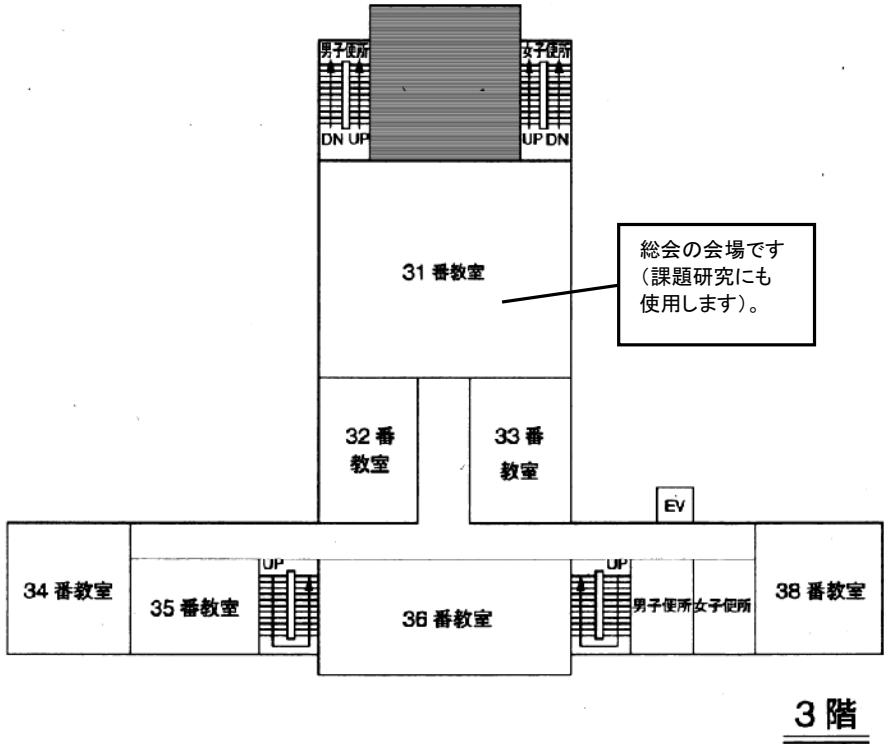


\*大会で使用する部屋以外(網掛け部分)への立ち入りはご遠慮ください

## 会場配置図（本館 2 階）



## 会場配置図（本館 3 階）



\*大会で使用する部屋以外(網掛け部分)への立ち入りはご遠慮ください

## 若手研究者交流会

10月20日(金) 16:00-18:00

会場：一橋大学 佐野書院

例年ご好評いただいている若手研究者交流会を、今年度も大会前日(10月20日)に開催いたします。若手研究者交流会は、大学院生をはじめとする若手の教育社会学研究者が研究上の関心や悩みを共有し、大学・研究室をこえた交流を行うことを目的としています。毎年多くの方々のご参加により、若手研究者が互いの親睦を深め、ネットワークを築く場となっております。

今年度は下記の5つのラウンドテーブルを用意いたしました。参加希望の方々には、いずれか1つのテーブルを選んでご参加いただくこととなります。終了後は、例年通り懇親会を開催する予定です。

参加をご希望の方は、必要事項を記入のうえ、10月10日(火)までに下記の参加申し込み先までEメールでお申し込みください。(※当日の参加も可能ですが、会場・懇親会の予約の都合もありますので、なるべく事前にご連絡ください。)多くのお申し込みをお待ちしています。

【日時】 2017年10月20日(金) 16:00~18:00(終了後に懇親会を予定)

【場所】 一橋大学 佐野書院

【参加対象】 大学院生をはじめとしたキャリアの浅い教育社会学研究者(非学会員も可)

【参加費】 無料(※懇親会費は別途ご用意ください。3,500円程度を予定しています。)

【ラウンドテーブル】

1. 若手のための教育社会学必読書<初級編>  
話題提供者：小山田建太(筑波大学大学院)
2. 若手のための教育社会学必読書<中・上級編>  
話題提供者：内田康弘(愛知教育大学・日本学術振興会 PD)
3. 女性のキャリア形成  
話題提供者：高橋史子(東京大学)
4. 留学生のキャリア形成  
話題提供者：馬芳芳(お茶の女子大学大学院)
5. 研究計画の立て方  
話題提供者：二羽泰子(日本女子大学 学術研究員)

【連絡先】 jses.seminar2016+2017@gmail.com (担当：林・呉)

<必要事項> Eメールの件名を「若手研究者交流会参加申し込み」とし、本文に、①氏名、②所属(大学院生は学年も)、③学会員か非学会員かの別、④連絡先(メールアドレス)、⑤参加を希望するラウンドテーブルの番号、⑥懇親会参加の有無を記入してください。

【担当】

教育部 副部長：額賀美紗子(東京大学)

部員：林明子(大妻女子大学)・呉永鎬(世界人権問題研究センター)

## I - 1 部会

### 国際化と教育

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 22 番教室

---

#### 司会

天童睦子(宮城学院女子大学)

- 9:30-9:55 1. マレーシアにおける民族優遇教育政策とその職業的地位達成への影響  
—本人の職業威信に対する民族効果と学歴効果の分析—  
田中李歩(東京大学大学院)
- 9:55-10:20 2. ロンドン・ニューアム区のインクルーシブ教育実践に関する研究  
—個のニーズへの対応と集団への包摂—  
○原田琢也(金城学院大学)  
濱元伸彦(京都造形芸術大学)  
高橋真琴(鳴門教育大学大学院)  
佐藤貴宣(日本学術振興会)
- 10:20-10:45 3. 在外教育施設における教員のトランスナショナルな教育実践  
芝野淳一(大阪成蹊大学)
- 10:45-11:10 4. 国際結婚家庭の子どもの学校経験と進路選択  
—大学生へのインタビュー調査から—  
広崎純子(国際医療福祉大学)
- 11:10-11:35 5. 公立小学校における「民族学級」の機能と実践の変容  
藪田直子(大阪大学大学院)
- 11:35-12:00 総括討論

## I - 2 部会

### 大学生

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 23 番教室

---

#### 司会

濱中義隆 (国立教育政策研究所)

- 9:30-9:55 1. 「部・サークル活動」からみる大学生文化の特質  
—4 時点調査の比較から—  
○濱嶋幸司 (同志社大学)  
武内清 (敬愛大学)
- 9:55-10:20 2. 奨学金受給が学生支出行動に与える影響  
呉書雅 (弘前大学)
- 10:20-10:45 3. 大学不本意入学者の出願理由に関する一考察  
—B 大学新生アンケート調査からの検討—  
竹内正興 (鹿児島大学)
- 10:45-11:10 4. 卒業論文に関する学習経験の職業的レリバンス  
—大卒者に対するインターネットモニター調査をもとにして—  
小山治 (京都産業大学)
- 11:10-11:35 5. なぜ同窓会・同窓生ネットワークが生徒・学生のキャリア形成・就職  
不安に影響を及ぼすのか  
黄順姫 (筑波大学)
- 11:35-12:00 総括討論

## I - 3 部会

### 高等教育制度

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 24 番教室

---

司会

村澤昌崇 (広島大学)

- 9:30-9:55 1. 宗教専門職養成の研究  
—新宗教の事例を通じた理論枠組の検討—  
齋藤崇徳 (独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構)
- 9:55-10:20 2. 高専教育の何が役に立ち、何が足りなかったのか  
—教育内容への興味と有用性との関係—  
山田宏 (一橋大学大学院)
- 10:20-10:45 3. 位置と規模・入試データからみた国公立大学理工系学部の  
相互影響力の考察  
○北村優大 (横浜国立大学大学院)  
近藤敬太 (横浜国立大学大学院)  
額田順二 (横浜国立大学)
- 10:45-11:10 4. 法学部教育の学修成果の類型的考察  
—学部設立年と教育志向性に着目して—  
坂巻文彩 (九州大学大学院)
- 11:10-11:35 5. 大学設置基準大綱化以降の新設大学の設置母体としての学校法人  
—併設校の変容に着目して—  
西田亜希子 (大阪市立大学)
- 11:35-12:00 総括討論

I - 4 部会

ニューカマー (1)

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 25 番教室

---

司会

三浦綾希子 (中京大学)

- 9:30-9:55 1. ペルー系ニューカマー二世世代の職業選択  
角替弘規 (静岡県立大学)
- 9:55-10:45 2. 中国系ニューカマー二世世代におけるジェンダーと学業達成  
—出身階層の差異に注目して—  
○坪田光平 (職業能力開発総合大学校)  
○劉麗鳳 (日本大学大学院)
- 10:45-11:35 3. 日系ブラジル人の再チャレンジ  
—サンパウロ・ロンドリーナ編—  
○ハヤシザキカズヒコ (福岡教育大学)  
○山ノ内裕子 (関西大学)  
○山野上麻衣 (一橋大学大学院)  
児島明 (鳥取大学)  
山本晃輔 (大阪大学)  
中島葉子 (岐阜聖徳学園大学)
- 11:35-12:00 総括討論



## I - 5 部会

### 教育改革と教師

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 26 番教室

---

司会

油布佐和子 (早稲田大学)

- 9:30-9:55      1. 中学校教育はどう変わったのか?  
—2002・2017年全国校長・教員調査データの比較分析—  
菊地栄治 (早稲田大学)
- 9:55-10:45    2. 教育改革と教師の経験  
○野崎友花 (大阪大学大学院)  
○佐藤智美 (大阪大学大学院)  
○河上婦志子 (大阪大学大学院)
- 10:45-11:35   3. 教師の生活・意識・誇り・専門性と教育改善の可能性に関する調査研究  
—教師文化(教職観・子ども観・同僚性・協働性)及び自信・仕事満足の構造と変化—  
○藤田英典 (共栄大学)  
○山田真紀 (相山女学園大学)  
玉井航太 (北海商科大学)  
鈴木悠太 (東京工業大学)  
和井田節子 (共栄大学)
- 11:35-12:00   総括討論

## I - 6 部会

### ジェンダー (1)

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 28 番教室

---

司会

藤田由美子(福岡大学)

- 9:30-9:55 1. 現代女子学生のライフコース展望の諸相  
—仕事、結婚、育児に関するインタビュー調査の分析を中心に—  
谷田川ルミ(芝浦工業大学)
- 9:55-10:20 2. 近代中国におけるモダンガールイメージの形成  
—女性向け広告と女性ファッション誌『玲瓏』を中心に—  
呉桐(京都大学大学院)
- 10:20-10:45 3. 戦前期高等女学校・実科高等女学校生徒の進路動向とその変化  
—就職率に注目して—  
濱貴子(富山県立大学)
- 10:45-11:10 4. 女性の高等教育、その意味と役割の再考察  
—中東湾岸諸国における女性の高学歴化を題材に—  
沈雨香(早稲田大学大学院)
- 11:10-11:35 5. 大学院生の不安とメンタルヘルスに関する統計分析  
—ジェンダーの観点を中心に—  
坂無淳(福岡県立大学)
- 11:35-12:00 総括討論

## I - 7 部会

### 子どもと学習

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 32 番教室

---

司会

小針誠 (青山学院大学)

- 9:30-10:20      1. 何が学力を変化させたか  
—小学校でのアクションリサーチから—  
○若槻健 (関西大学)  
○伊藤駿 (大阪大学大学院)
- 10:20-10:45      2. 就学前教育における子どもの時間的社会化  
大久保心 (慶応義塾大学大学院)
- 10:45-11:10      3. 小学生における学業成績と家庭・学校・個人内要因との関連性  
高木誠一 (国際武道大学)
- 11:10-11:35      4. 子どもの勉強の好き嫌いの変化とその要因  
—JLSCP2015-2016 調査より—  
○邵勤風 ((株) ベネッセホールディングス)  
木村治生 (株式会社ベネッセホールディングス)  
橋本尚美 (株式会社ベネッセホールディングス)  
岡部悟志 (株式会社ベネッセホールディングス)
- 11:35-12:00      総括討論

## I - 8 部会

### 東北からの教育

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 33 番教室

---

司会

高瀬雅弘(弘前大学)

- 9:30-9:55      1. 東北地方の高校生の大学進学移動  
    — 生徒の社会関係資本に着目して—  
        津多成輔(筑波大学大学院)
- 9:55-10:20    2. 東日本大震災は高校生の進路選択にどのような影響を与えたのか?  
    ○妹尾渉(国立教育政策研究所)  
    松田洋介(金沢大学)
- 10:20-11:10   3. 「復興」に向かう協働性  
    ○清水睦美(日本女子大学)  
    ○堀健志(上越教育大学大学院)
- 11:10-11:35   4. 高校受験予備校の成立過程に関する一考察  
    — 福島県 X 市の事例をもとに—  
        遠藤健(早稲田大学大学院)
- 11:35-12:00   総括討論

## I - 9 部会

### 学校と格差

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 34 番教室

---

司会

中澤 渉 (大阪大学)

- 9:30-9:55      1. 高校階層構造における生徒の学習行動の分化に関する実証的検討  
— 学校外学習時間に着目して —  
山口泰史 (東京大学大学院)
- 9:55-10:20    2. 中国における公立学校間の格差問題  
— 江西省の重点高校と非重点高校の比較調査から —  
劉 薈 (中央大学大学院)
- 10:20-10:45   3. 高校階層構造下における生徒・教師関係  
— 社会経済的地位による社会関係資本の個人間・学校間格差 —  
松岡亮二 (早稲田大学)
- 10:45-11:10   4. アクティブ・ラーニング型の授業方法への適応と格差  
— JLSCP2015-2016 データを用いて —  
須藤康介 (明星大学)
- 11:10-11:35   5. 項目反応理論による学力格差の変容の分析  
川口俊明 (福岡教育大学)
- 11:35-12:00   総括討論

## I - 10 部会

### 学校と学級

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 38 番教室

---

#### 司会

西島央 (首都大学東京)

- 9:30-9:55      1. 「文武両道」は何を意味するのか  
— 学業と課外スポーツの組み合わせによる意味の創出—  
加藤一晃 (名古屋大学大学院)
- 9:55-10:20    2. 都内私立高校生が語る「学校化社会」での葛藤  
— 不本意入学者の語る「仕方ない」に着目して—  
阿部智美 (中央大学大学院)
- 10:20-10:45   3. 学級規則に見る多様な社会化  
— 価値・行動様式・人間関係のパターンとその背景—  
渡邊雅子 (名古屋大学)
- 10:45-11:10   4. 授業場面で実践される生徒指導の相互行為分析  
— 「学級内ルール」の運用場面に着目して—  
粕谷圭佑 (立教大学大学院)
- 11:10-11:35   5. 教室内の人間関係をめぐる生徒の戦略  
梅田崇広 (広島大学大学院)
- 11:35-12:00   総括討論

## テーマ部会①

# 教育社会学的研究への公的統計データの活用

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 36 番教室

---

### 司会

藤原翔 (東京大学)

- 9:30-9:55      1. 日本における移民児童の高校進学率とその規定要因  
—2010年国勢調査データを利用したロジスティック回帰分析—  
鍛治致 (大阪成蹊大学)
- 9:55-10:20    2. 外国籍の親をもつ子どもの教育機会に関する分析  
—国勢調査個票データによる実証分析—  
石田賢示 (東京大学)
- 10:20-10:45   3. 学歴としての専門学校の効果と制度的埋め込み  
—就業構造基本調査の個票データを用いて—  
多喜弘文 (法政大学)
- 10:45-11:10   4. 教育と職業を中心とした階層構造の分析  
—「就業構造基本調査」を用いて—  
古田和久 (新潟大学)
- 11:10-11:35   5. 労働時間シフトとワークライフバランス  
—「社会生活基本調査」を用いた類型化の試み—  
○香川めい (東京大学)  
仁平典宏 (東京大学)
- 11:35-12:00   総括討論

英語特設部会 I

Modernization and Post-modernization  
in Secondary Education

10月21日(土) 9:30-12:00

会場: 35 番教室

---

司会

Fujie YUAN (Open University)

&

Rie MORI (NIAD-QE)

- 9:30-9:55      1. “High School Education for All in East Asia”  
Shinichi AIZAWA (Chukyo University)
- 9:55-10:20    2. “A Sociological Analysis of Privatization of Secondary Schools”  
Xinrong ZHENG (Beijing Normal University)
- 10:20-10:45   3. “From 'School Education' to 'School-to-Work Education'  
in the Knowledge-based Society: Implications from some  
European Countries”  
Kanakano SUEOKA (Graduate School of Osaka  
University)
- 10:45-11:10   4. “Foreigner Education of Higher Normal Schools in Pre-war Japan  
: A Case Study of Chinese Students' Life Experiences in Tokyo  
Higher Normal School”  
Yang JU (Graduate School of Hiroshima  
University)
- 11:10-12:00   総括討論



## Ⅱ－１部会

### 問題行動

10月21日（土）14：10－16：10

会場：22番教室

---

司会

石飛和彦（天理大学）

- 14：10－14：35 1. 少年はなぜ万引きをするのか？  
—少年の万引き被疑者および一般の中高生を対象とした質問紙調査をもとに—  
○久保田真功（関西学院大学）  
白松賢（愛媛大学）
- 14：35－15：00 2. 中国の小中学校におけるいじめの実態  
陳林奇（広島大学大学院）
- 15：00－15：50 3. 「いじめ問題」の諸相（4）  
—当事者は「いじめ問題」をいかに語りうるのか—  
北澤毅（立教大学）  
○間山広朗（神奈川大学）  
稲葉浩一（北海道教育大学）  
○越川葉子（秋草学園短期大学）  
山田鋭生（共栄大学）  
○保坂克洋（立教大学大学院）  
今井聖（立教大学大学院）
- 15：50－16：10 総括討論

## Ⅱ－２部会

### 子どもと福祉

10月21日（土）14：10－16：10

会場：23番教室

---

#### 司会

藤間公太（国立社会保障・人口問題研究所）

- 14：10－14：35 1. 保育士経験者の童心受容的教育観形成に関する研究  
—遊び支援活動を事例として—  
白坂正太（九州大学大学院）
- 14：35－15：00 2. 児童養護施設の子どもの幼稚園就園に関する諸相  
坪井瞳（東京成徳大学）
- 15：00－15：25 3. 子育て・子育てを志向する共生理念  
—感化院から児童自立支援施設に至る施設の歴史と実践—  
武千晴（日本女子大学大学院）
- 15：25－15：50 4. 児童養護施設における文化伝達と職員の生活経験  
—施設職員へのインタビュー調査を通して—  
山口季音（至誠館大学）
- 15：50－16：10 総括討論

## Ⅱ－３部会

### 教育機会と能力

10月21日（土）14：10－16：10

会場：24番教室

---

司会

倉石一郎（京都大学）

- 14：10－15：00 1. 就学における選択と選別の社会学的研究  
○酒井朗（上智大学）  
○谷川夏実（上智大学）
- 15：00－15：25 2. 義務教育における児童・生徒の「能力」及び「資質」に関する一考察  
中尾豊喜（大阪キリスト教短期大学）
- 15：25－15：50 3. 「高校全入運動」言説における能力観の相剋  
石岡学（同志社大学）
- 15：50－16：10 総括討論

## Ⅱ－４部会

### 親の教育期待

10月21日（土）14：10－16：10

会場：25番教室

---

司会

本田由紀（東京大学）

- 14：10－14：35    1. 小中移行期の勉強の好き嫌いに関する子どもの認識枠組みの解明  
—JLSCP2015-2016 追跡インタビュー調査より—  
○橋本尚美（ベネッセ教育総合研究所）  
前馬優策（大阪大学大学院）  
松浦加奈子（一橋大学大学院）  
濱沖敢太郎（一橋大学大学院）  
邵勤風（ベネッセ教育総合研究所）
- 14：35－15：00    2. 教育費のきょうだい格差  
太田昌志（名古屋市立大学大学院）
- 15：00－15：25    3. 子どものジェンダーと親の教育期待  
○奥村美保（無所属）  
川口俊明（福岡教育大学）
- 15：25－16：10    総括討論

## Ⅱ－５部会

### 社会構造と教育

10月21日（土）14：10－16：10

会場：28番教室

---

司会

神原文子（神戸学院大学）

- 14：10－14：35 1. 同和教育における進路実現の支援  
—部落解放研卒業生の追跡調査から—  
大橋真（大阪大学大学院）
- 14：35－15：25 2. 公営住宅居住者の子育てにおける諸資本とレジリエンス  
—B市A団地の質問紙調査・インタビュー調査から—  
○山田哲也（一橋大学）  
○久富善之（一橋大学名誉教授）  
○仲嶺政光（富山大学）  
○山本宏樹（東京電機大学）
- 15：25－15：50 3. 普通科高校福祉コースにおける専門教育の地域間比較  
小黑恵（東京大学大学院）
- 15：50－16：10 総括討論

## Ⅱ－6 部会

### 教員政策

10月21日（土）14：10－16：10

会場：32 番教室

---

司会

高野良子（植草学園大学）

- 14：10－14：35    1. 教員養成系大学政策に関する教育労働運動の対応  
—1970年代の日本教職員組合を事例として—  
二宮祐（群馬大学）
- 14：35－15：00    2. 教職大学院での学びが修了後の教育実践に及ぼす影響  
藤森宏明（北海道教育大学大学院）
- 15：00－15：50    3. 現職教員の潜在的学びニーズ  
—大学への「社会人入学」に関する質問紙調査を通じて—  
○加藤潤（愛知大学）  
○田川隆博（中部大学）  
今津孝次郎（愛知東邦大学）  
白山真澄（東海学院大学）  
長谷川哲也（静岡大学）  
林雅代（南山大学）
- 15：50－16：10    総括討論

## Ⅱ－7 部会

### 教育者と職業文化

10月21日(土) 14:10-16:10

会場: 33 番教室

---

司会

中村瑛仁(大阪大学)

- 14:10-14:35 1. 牧師の職業的社会化における困難性  
篠原清夫(三育学院大学)
- 14:35-15:00 2. 管理職は教員をどのように“評価”・“認識”しているのか  
—指導力不足教員の認識に焦点を当てて—  
波多江俊介(熊本学園大学)
- 15:00-15:25 3. 教師の主体性から捉え直す教員文化の構造  
伊藤莉央(大阪大学大学院)
- 15:25-15:50 4. 「学生／教師」という境界状態の身体的体験をめぐって  
—教員養成課程の学生による体験と教師教育における意義—  
川島裕子(北海道教育大学・University of Toronto)
- 15:50-16:10 総括討論

## Ⅱ－８部会

### 教育と政治

10月21日(土) 14:10-16:10

会場: 34 番教室

---

司会

仁平典宏 (東京大学)

- 14:10-14:35 1. 過去 20 年間における中学生の平和意識の変化  
—東京・京都・広島・那覇の中学 2 年生に対する意識調査  
(97・06・16 年) の分析から—  
村上登司文 (京都教育大学)
- 14:35-15:00 2. 「主権者教育」を生徒はいかに受け止めたか  
大津幸信 (群馬県立大泉高等学校)
- 15:00-15:25 3. 国立大学生の政治参加と子ども時代の政治的社会化過程  
—第 24 回参議院議員通常選挙後の質問紙調査より—  
○西島央 (首都大学東京)  
大津尚志 (武庫川女子大学)  
赤川理 (信州大学)  
徳本広孝 (中央大学)
- 15:25-15:50 4. 現代世界における学問の自由の課題  
—日本・ドイツ・アメリカ—  
羽田貴史 (東北大学)
- 15:50-16:10 総括討論



## Ⅱ－９部会

### 歴史と思想

10月21日（土）14：10－16：10

会場：36番教室

---

司会

井上義和（帝京大学）

- 14：10－14：35    1. 戦前期日本における経営者の実業教育論  
    —武藤山治を事例として—  
                                中川宗人（東京大学）
- 14：35－15：00    2. 「個性調査」からみる評価とその社会的規定性  
    —大正期山形県内小学校の「個性観察簿」の分析をとおして—  
                                水谷智彦（立教大学）
- 15：00－15：25    3. 知識人漱石から作家漱石へ  
    —木曜会における師弟関係の構造と変容—  
                                椎名健人（京都大学大学院）
- 15：25－15：50    4. 忘れられた教育社会学者、木山熊次郎  
    —戦前期の教育社会学史研究として—  
                                竹村英樹（慶應義塾大学）
- 15：50－16：10    総括討論

## Ⅱ－１０部会

### 学歴

10月21日（土）14：10－16：10

会場：38番教室

---

#### 司会

古田和久（新潟大学）

- 14：10－14：35 1. 母集団の学歴分布を確認するとき何に留意すべきか  
—2015年SSMデータを用いて—  
平沢和司（北海道大学）
- 14：35－15：00 2. 現代日本社会における中卒学歴と社会経済的背景  
—「就業構造基本調査」個票データの分析—  
藤原翔（東京大学）
- 15：00－15：25 3. 大学等中退の構造的転換点  
下瀬川陽（東京大学大学院）
- 15：25－15：50 4. 大学別期待生涯賃金の推計  
—4大学の平均と分散に着目して—  
○島一則（東北大学）  
原田健太郎（島根大学）  
西村君平（弘前大学）  
呉書雅（東北大学大学院）  
真鍋亮（広島大学大学院）
- 15：50－16：10 総括討論

英語特設部会Ⅱ

Recent Reforms and Empirical Analysis  
in East Asian Education

10月21日(土) 14:10-16:10

会場: 35番教室

---

司会

Daisuke SONOYAMA (Osaka University)

&

Mei KAGAWA (University of Tokyo)

- 14:10-14:35    1. “Expansion of Upper Secondary Education in Mainland China”  
Jin JIANG (Lingnan University)
- 14:35-15:00    2. “Choices or Only One Choice?: Analyzing How Taiwanese Third-year High School Students Interpret Multiple College Entrance Programs with Their Use of In-class Time”  
Ying-Jie JHENG (National Taiwan Sport University)
- 15:00-15:25    3. “When to Swallow Global Standards: Secondary Education Reform and its Impact on Higher Education in the Philippines”  
Rie MORI (NIAD-QE)
- 15:25-15:50    4. “Study on Undergraduates’ Creativity Competencies: An Empirical Analysis of Structural Equation Modeling”  
Amy Shumin CHEN (Tatung University)
- 15:50-16:10    総括討論

## Ⅲ－１部会

### 教育問題

10月21日（土）16：20－18：20

会場：22番教室

---

司会

山本雄二（関西大学）

- 16：20－17：10    1. ネットいじめの構造とその対策に関する実証的研究（Ⅲ）
- 原清治（佛教大学）
  - 山内乾史（神戸大学）
  - 松浦善満（龍谷大学）
  - 大多和直樹（帝京大学）
  - 小針誠（青山学院大学）
  - 小林至道（関西大学）
  - 浅田瞳（華頂短期大学）
  - 西谷雅史（エースチャイルド株式会社）
  - 堀出雅人（華頂短期大学）
- 17：10－17：35    2. 「日本PTA」新聞における「責任」言説分析
- 森村繁晴（放送大学大学院）
- 17：35－18：00    3. 「学校問題」における「子ども／大人」関係の構図と論理（3）
- 池田隆英（岡山県立大学）
- 18：00－18：20    総括討論

## Ⅲ－２部会

### 不登校

10月21日（土）16：20－18：20

会場：23番教室

---

司会

酒井朗（上智大学）

- 16：20－16：45 1. フリースクールにおける学校制度の戦略的活用とその帰結  
藤村晃成（広島大学大学院）
- 16：45－17：10 2. 不登校は教育課程の問題か  
—教育機会確保法をめぐる議論を振り返る—  
高山龍太郎（富山大学）
- 17：10－17：35 3. 社会運動としてのオルタナティブスクールのネットワーク  
藤根雅之（大阪大学大学院）
- 17：35－18：00 4. 人身売買の「解決」と長期欠席調査  
—地方紙記事の比較検討から—  
加藤美帆（東京外国語大学）
- 18：00－18：20 総括討論

### Ⅲ－３部会

## 進路と教育

10月21日（土）16：20－18：20

会場：24番教室

---

司会

岩田考（桃山学院大学）

- 16：20－16：45 1. 学力かつながりか？  
—中・高接続時における進路選択をめぐる葛藤に着目して—  
二羽泰子（日本女子大学）
- 16：45－17：10 2. 「高校生の進路についての追跡調査」（2005-2011）を用いたキャリア形成  
に関する二次分析  
○近藤敬太（横浜国立大学大学院）  
額田順二（横浜国立大学）
- 17：10－17：35 3. 学校の雰囲気と学習行動・進路志望  
—北海道都市部2校の高校3年生の聞き取り調査の分析—  
三関直樹（北海道大学大学院）
- 17：35－18：00 4. 中国における修士課程学生の進路選択に関する実証研究  
韓冀娜（早稲田大学大学院）
- 18：00－18：20 総括討論

### Ⅲ－４部会

## メディアと文化

10月21日(土) 16:20-18:20

会場: 25番教室

---

司会

加藤隆雄(南山大学)

- 16:20-16:45 1. 「受験英語」という教養主義  
藤村達也(京都大学大学院)
- 16:45-17:35 2. 現代若者におけるNHK「連続テレビ小説」の受容  
—視聴者アンケート調査の分析を中心に—  
稲垣恭子(京都大学)  
○佐々木基裕(名古屋女子大学)  
○伊藤すみれ(京都大学大学院)  
椎名健人(京都大学大学院)  
花田史彦(京都大学大学院)  
服部弘(NHKエデュケーショナル)
- 17:35-18:00 3. 若者へのテレビの影響は低下したか  
—学生の情報環境に関するプレ調査(2016)の結果報告—  
○井上剛男(大阪千代田短期大学)  
紅林伸幸(常葉大学)  
越智康詞(信州大学)  
加藤隆雄(南山大学)  
酒井真由子(上田女子短期大学)
- 18:00-18:20 総括討論

### Ⅲ－５部会

## 教員の役割

10月21日（土）16：20－18：20

会場：32番教室

---

司会

長谷川裕（琉球大学）

- 16：20－17：10    1. 外国人大学教員の採用に関する国際比較研究（2）  
—外国人教員を対象に実施された全国調査の分析結果を中心に—  
○黄福涛（広島大学）  
○大膳司（広島大学）  
米澤彰純（東北大学）  
秦由美子（広島大学）  
杉本和弘（東北大学）  
李敏（信州大学）
- 17：10－17：35    2. 米国のコミュニティカレッジにおける教育の質と教員の役割  
宇田川拓雄（流通科学大学）
- 17：35－18：00    3. 中国における女性教師の現状と課題  
付宇倩（広島大学大学院）
- 18：00－18：20    総括討論



### Ⅲ－６部会

## 子育て戦略

10月21日（土）16：20－18：20

会場：33番教室

---

司会

高橋均（北海道教育大学）

- 16：20－17：10 1. 雇用不安定化社会における低所得家族の生活・子育て戦略とその分岐  
—大規模公営団地の子育て世帯に対する質問紙調査・インタビュー調査  
をもとに—
- 小澤浩明（東洋大学）
  - 本田伊克（宮城教育大学）
  - 前馬優策（大阪大学）
  - 松田洋介（金沢大学）
  - 盛満弥生（宮崎大学）
- 17：10－17：35 2. 親のかかわりと子の学習（JLSCP2015-2016）  
—親の認識と子の認識、短期効果と長期効果に着目して—  
岡部悟志（株式会社ベネッセホールディングス）
- 17：35－18：00 3. 子育て実践としつけ文化にみる階級差とペアレントクラシー  
片岡栄美（駒澤大学）
- 18：00－18：20 総括討論



### Ⅲ－８部会

## 親の関わりと教育意識

10月21日(土) 16:20-18:20

会場: 36番教室

---

司会

千葉聡子(文教大学)

- 16:20-16:45 1. Effects of Parental Involvement on Academic Achievement among Elementary and Middle School Students  
大谷碧(大阪大学大学院)
- 16:45-17:10 2. 母親の経験、子供の意識、子供の進路の関係について  
日下田岳史(大正大学)
- 17:10-17:35 3. 父母の学校活動関与の角度からみた教育における公平性についての一考察  
—中国江蘇省の事例を中心に—  
賀曉星(南京大学)
- 17:35-18:20 総括討論

### Ⅲ－９部会

## 若者の生き方

10月21日（土）16：20－18：20

会場：38番教室

---

司会

片山悠樹（愛知教育大学）

- 16：20－16：45 1. 偏位する「社会的孤立」  
—内閣府若者 Web 調査の分析から—  
古賀正義（中央大学）
- 16：45－17：10 2. 貧困世帯の若者の移行過程に関する研究  
—家族に着目して—  
林明子（大妻女子大学）
- 17：10－17：35 3. バンドマンの「将来の夢」をめぐる解釈実践  
—なぜ彼らは自らの夢を実現可能だと語るのか—  
野村駿（名古屋大学大学院）
- 17：35－18：00 4. 「後期若者」への実証的接近  
—現代日本において人はどう若者でなくなるのか—  
大和多直樹（帝京大学）
- 18：00－18：20 総括討論

英語特設部会Ⅲ

International Approach for Future Education in East Asia

10月21日(土) 14:10-16:10

会場: 35番教室

---

司会

Masako E. WATANABE (Nagoya University)

&

Shinichi AIZAWA (Chukyo University)

- 16:20-16:45    1. “Toward an 'Asian Education' Contribution to Theories of Educational Expansion?”  
Jeremy RAPPLEYE (Kyoto University)
- 16:45-17:10    2. “Strategic Identity Formation of Foreign Assistant Language Teachers in Japan”  
Mika Ishino-TAKAI (Graduate School of Osaka University)
- 17:10-17:35    3. “The Making of a New Generation of School Teachers in China”  
Liang DU (Beijing Normal University)
- 17:35-18:00    4. “Competence, Capability and Learner-based Curriculum Reform in Taiwan”  
Chun-Ping WANG (National Taipei University of Education)
- 18:00-18:20    総括討論

## IV－1 部会

# 大学生とキャリア形成

10月22日（日）9：30－12：00

会場：22 番教室

---

司会

寺崎里水（法政大学）

- 9：30－10：20      1. 理系女子の進路選択およびキャリア形成と人生プランおよび活躍のチャンスについての研究  
—卒業・修了生アンケート調査および卒業生インタビュー記事の分析より—  
○佐々木啓子（電気通信大学）  
椿美智子（電気通信大学）  
○藤村朝子（日本女子大学（非常勤講師））  
高橋裕子（津田塾大学）  
渡邊あや（津田塾大学）  
赤澤紀子（電気通信大学）
- 10：20－10：45      2. プロジェクト学習を通じた大学生のキャリア教育  
亀井あかね（東北工業大学）
- 10：45－11：10      3. 大学の教育環境と卒業生の雇用状況に関する実証分析  
姉川恭子（早稲田大学）
- 11：10－11：35      4. 大学のキャリア教育における予期的社会化  
妹尾麻美（立命館大学）
- 11：35－12：00      総括討論

## IV－2 部会

### 大学教育の効用

10月22日（日）9：30－12：00

会場：23 番教室

---

司会

濱中淳子（東京大学）

- 9：30－10：20      1. 大学生にとっての留学の効用  
—意識・行動変容に着目して—  
○吉田文（早稲田大学）  
○反橋一憲（早稲田大学大学院）  
沈雨香（早稲田大学大学院）  
樋田有一郎（早稲田大学大学院  
・日本学術振興会特別研究員）  
山本桃子（早稲田大学大学院）  
遠藤健（早稲田大学大学院）
- 10：20－10：45      2. 地方の若者の地域移動・定着とキャリア選択  
—福祉系大学生・卒業生へのインタビューから—  
廣森直子（青森県立保健大学）
- 10：45－11：35      3. 学士課程教育の質保証  
—R-T-S ネクサスの構築—  
○有本章（兵庫大学）  
○黄文哲（兵庫大学）
- 11：35－12：00      総括討論

## IV－3 部会

### 学力

10月22日（日）9：30－12：00

会場：24 番教室

---

司会

鳶島修治（群馬大学）

- 9：30－9：55      1. 交差遅れ効果モデルを用いた学力のパネルデータ分析  
数実浩佑（大阪大学大学院）
- 9：55－10：45      2. 沖縄における離島と本島間の学力格差  
—学力調査が及ぼした影響に焦点をあてて—  
○西本裕輝（琉球大学）  
○馬居政幸（静岡大学名誉教授）  
望月重信（明治学院大学名誉教授）  
角替弘規（静岡県立大学）  
遠藤宏美（宮崎大学）
- 10：45－11：10      3. 現代の子どもの読書に関する考察  
—2つの調査データの比較より—  
腰越滋（東京学芸大学）
- 11：10－11：35      4. 学習姿勢の改善と学力向上  
—ある公立中学校における公文式学習の導入事例—  
岡嶋裕子（大阪大学）
- 11：35－12：00      総括討論







## IV－6 部会

### カリキュラムと教育

10月22日（日）9：30－12：00

会場：32 番教室

---

司会

羽田貴史（東北大学）

- 9：30－9：55      1. 日常知に基づく信念を支えようとする論理は、学問知となる理論として成り立ちうるのか  
—カリキュラムに関する近年のマイケル・F・D・ヤングを手がかりに—  
柳田雅明（青山学院大学）
- 9：55－10：20    2. 「国際教養」教育の日本的展開と課題  
嶋内佐絵（早稲田大学）
- 10：20－10：45   3. 私立在外校における Instrumental Order の構築  
—K校の英語カリキュラムを中心にして—  
白石義郎（久留米大学）
- 10：45－11：35   4. 第三段階教育の質保証にかかる国際的な政策学習過程の分析  
—豪・韓・日の学位・資格枠組みの開発に焦点を当てて—  
吉本圭一（九州大学）  
○稲永由紀（筑波大学）  
○塚原修一（関西国際大学）  
○杉本和弘（東北大学）
- 11：35－12：00   総括討論

## IV-7 部会

### ニューカマー（2）

10月22日（日）9:30-12:00

会場：33 番教室

---

司会

鍛冶致（大阪成蹊大学）

- 9:30-10:20      1. 日系ブラジル人の再チャレンジ  
—アマゾン編—
- 山本晃輔（大阪大学）
  - 中島葉子（岐阜聖徳学園大学）
  - 児島明（鳥取大学）
  - ハヤシザキカズヒコ（福岡教育大学）
  - 山ノ内裕子（関西大学）
  - 山野上麻衣（一橋大学大学院）
- 10:20-10:45      2. 公立学校におけるブラジル人保護者と教師との関係  
—群馬県大泉町における教師調査から—
- 新藤慶（群馬大学）
- 10:45-11:10      3. フィリピン系ニューカマー二世世代の進路選択と大学での学び
- 額賀美紗子（東京大学）
  - 三浦綾希子（中京大学）
- 11:10-11:35      4. ブラジル系ニューカマー二世世代の「帰国」経験
- 児島明（鳥取大学）
- 11:35-12:00      総括討論

## IV－8 部会

### 貧困と教育支援

10月22日（日）9：30－12：00

会場：34 番教室

---

司会

小澤浩明（東洋大学）

- 9：30－9：55      1. 「子どもの貧困」に立ち向かう教師の葛藤と役割認識  
高橋味央（大阪大学大学院）
- 9：55－10：20    2. 学習と居場所のディレンマ  
—学習支援 NPO からみえる子どもの貧困対策の困難—  
成澤雅寛（東京大学大学院）
- 10：20－10：45   3. 支援者-受援者間の繋がり形成プロセス  
—首都圏の学習支援事業を事例として—  
川崎妙美（東京外国語大学大学院）
- 10：45－11：10   4. 低所得層の子どもたちの学習に関する意識と行動  
—JLSCP2015-2016 調査にみる「貧困の連鎖」の要因—  
○木村治生（ベネッセ教育総合研究所）  
邵勤風（ベネッセ教育総合研究所）  
橋本尚美（ベネッセ教育総合研究所）  
岡部悟志（ベネッセ教育総合研究所）
- 11：10－11：35   5. 低所得層を対象とした教育支援が意味するもの  
—バングラデシュの事例から—  
内川明佳（総合研究大学院大学）
- 11：35－12：00    総括討論

## IV－9 部会

### 地域と教育

10月22日（日）9：30－12：00

会場：35 番教室

---

司会

樋田大二郎（青山学院大学）

- 9：30－9：55      1. 就学前環境の地域差と教育達成の関連  
    — 青少年期から成人期への移行についての追跡的研究（第5次）より—  
    中西啓喜（早稲田大学）
- 9：55－10：20    2. 中国の山東省における大学進学機会の地域間格差  
    張慶怡（広島大学大学院）
- 10：20－10：45   3. 学校教育目標が示す地方別子どもの大学進学目的  
    古泉博之（無所属）
- 10：45－11：10   4. 都市と地方の若者の進路選択と「自立」  
    中島ゆり（長崎大学）
- 11：10－11：35   5. 主観的な〈地域〉を問う  
    — 「地元」とはどこなのか—  
    河原秀行（東京大学大学院）
- 11：35－12：00    総括討論

## IV－10部会

### 学校経営

10月22日（日）9：30－12：00

会場：38番教室

---

#### 司会

金子真理子（東京学芸大学）

- 9：30－9：55      1. 生徒指導領域における教師のゲートキーピング  
—多職種を常勤配置している学校を一例とした考察—  
保田直美（佛教大学）
- 9：55－10：20    2. 現場から見た「チームとしての学校」  
—人権教育の立場から—  
川畑和久（大阪大学大学院）
- 10：20－10：45   3. 進路多様校における校内連携に関する研究  
柘澤利也（早稲田大学大学院）
- 10：45－11：35   4. 持続可能な学校改善のモデルの検討  
—学力向上と教員育成を軸とする北海道A小学校の事例から—  
○濱元伸彦（京都造形芸術大学）  
○金南咲季（大阪大学大学院）  
藪田直子（大阪大学大学院）  
福井秀晃（北海道教育大学教職大学院）
- 11：35－12：00    総括討論

## テーマ部会②

# メディアと教育

10月22日（日）9：30－12：00

会場：26番教室

---

司会

紅林伸幸（常葉大学）

- 9：30－9：55      1. 社会問題化過程におけるマスメディア報道の「技法」  
—大津いじめ事件の「自殺の練習」報道に焦点化して—  
今井聖（立教大学大学院）
- 9：55－10：45      2. 教育世論の構築とテレビメディアⅡ  
—保育報道の分析を通して—  
○酒井真由子（上田女子短期大学）  
○越智康詞（信州大学）
- 10：45－11：35      3. 新聞記事における少年犯罪報道の分析  
—医療化論と物語論の視角から—  
○加藤隆雄（南山大学）  
○木村祐子（東京成徳大学）
- 11：35－12：00      総括討論



## テーマ部会③

# 「教育と社会階層」研究とSSM調査

10月22日(日) 9:30-12:00

会場: 36番教室

---

司会

平沢和司(北海道大学)

- |             |  |
|-------------|--|
| 9:30-9:55   | 1. 相対的学歴指標と趨勢分析<br>—2015年SSM調査データを用いて—<br>中村高康(東京大学)                         |
| 9:55-10:20  | 2. 教育拡大と機会の不平等<br>—SSM2015年調査データを用いたEMI仮説の検証—<br>中澤渉(大阪大学)                   |
| 10:20-10:45 | 3. 出身大学の学校歴と専攻分野がキャリアにもたらす影響<br>—1995年-2015年SSM調査データを用いた分析—<br>豊永耕平(東京大学大学院) |
| 10:45-11:10 | 4. 少子化社会における教育達成ときょうだい構成の関連<br>—2015年SSM調査データを用いて—<br>苔米地なつ帆(東京大学)           |
| 11:10-11:35 | 5. 女性にとっての大学進学<br>—男女雇用均等法は何をもたらしたか?—<br>米澤彰純(東北大学)                          |
| 11:35-12:00 | 総括討論   |

## 教員育成の「現場主義」の落とし穴について考える

10月22日（日）13：30-16：30

会場：26 番教室

近年の教育政策において注目される動向のひとつとして、教員の資質能力の高度化に向けた動きが挙げられる。教職課程プログラムにおける「教職実践演習」の新設や教職大学院の設置、免許状更新制の導入などは、まさしくこうした政策的取り組みの一環にほかならないが、最近では、平成 27 年 12 月にまとめられた中教審答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」が、養成・採用・研修のプロセスを一体的にとらえた教員育成のための改革の具体策を提示している。

こうした取り組みについては、なるほど目指すべき方向性そのものに対して異論の余地はないかもしれない。しかし、実際に取り組まれつつある施策内容を子細にみてみると、そこには教員育成の「現場主義」とでも呼べるような、どこか閉鎖的でナイーブな、実践的スキルの過信傾向が読み取れるようにも思われる。

たとえば養成段階における学校インターンシップの導入や、教職大学院における実務家教員の重用といった動きには、アカデミックな学識よりも実践面での直接的な有用性のほうを重視する、素朴な「現場」信仰が投影されているようにも受けとれる。あるいはまた、件の中教審答申が謳う「学び続ける教員像」には、「自律的な学び」といつつも、実際には「研修を受けること」と同一視できるような制度化された学びが想定されているような気配も伺える。このような閉じたループの中で追求される「高度化」や「専門職性」には、ともすると自家中毒の罠に陥りかねない危うさが孕まれているだろうか。

実際に、近年は報道の場面などにおいても、特定の教育実践や学校的慣行が疑問符付きで取り上げられることが少なくない。このように既存の教員文化や学校的慣行の中にどっぷりと浸かっているのは見過ごされがちな課題や諸問題に対して、積極的に準拠を合わせていこうというのが本課題研究のねらいである。教員世界における思考の囚われや盲点について批判的に検証していくとともに、またそのうえで、教員の育成や教育政策に関与するアカデミズムの役割についても考えていくことにしたい。

司会：河野誠哉（山梨学院大学）・長谷川哲也（静岡大学）

報告 1：川村光（関西国際大学）

「社会と教育に対する教師のまなざしの変容」

報告 2：左巻健男（法政大学）

「学校に忍び込むニセ科学」

報告 3：内田良（名古屋大学）

「ブラック学校の臨床社会学—職員室の『無風状態』から考える」

討論者：菊地栄治（早稲田大学）

（研究委員：河野誠哉・長谷川哲也・紅林伸幸・保田直美）

### 格差・不平等研究の今後 —教育・家族・階層—

10月22日(日) 13:30-16:30

会場: 36番教室

少子化、高齢化などの人口構造の変容、家族の多様化、高学歴化や労働市場の変容とそれに伴う階層構造の変動といった現代社会における様々な変化の中で、今後の格差・不平等研究の課題を探ることが本課題研究の目的である。教育社会学の立場から格差・不平等にアプローチする上では、教育の構造変動を前提とした学歴の役割（学歴の収益や教育機会の不平等）やその動向に注目が集まるが、家族社会学や人口学の視点からは、家族形成と教育（例えば、子どもをもつのか、もつとすれば何人か、また誰にどこまで教育を受けさせるのか）が少子化社会における今後の格差・不平等を考える上では重要となる。そこには、どのような配偶者と結婚するのかという学歴同類結合やそれが子どもの教育達成にどのような影響をあたえているのかという関心も当然含まれてくる。このような家族形成と階層再生産という視点に加えて、家族の影響を親や子どものきょうだいだけではなく、祖父母や親きょうだいにも拡張して検討する試みも存在する。以上のような問題関心から経験的にアプローチするのであれば、調査デザインにも工夫が必要となってくる。

本課題研究では、教育社会学、家族社会学や人口学、そして社会階層論の重なりつつも異なるそれぞれの研究の動向を踏まえた後、教育、家族、階層の3つがどう絡み合って格差・不平等を導くのか、どのような枠組みから格差・不平等の問題に総合的にアプローチすることが可能なのかを、それぞれの立場から検討し、今後の格差・不平等研究を考える上での分析枠組み、仮説構築、調査デザインの基礎となるような議論を提示する。

司会: 藤原翔(東京大学)・田中理絵(山口大学)・都村聞人(神戸学院大学)

報告1: 石田浩(東京大学)

「格差・不平等研究とライフコース」

報告2: 余田翔平(国立社会保障・人口問題研究所)

「世代間移動表は何を測っているのか?: 「前向き」デザインによる世代間移動研究の可能性」

報告3: 荒牧草平(日本女子大学)

「拡大家族とネットワーク」

討論者: 筒井淳也(立命館大学)

(研究委員: 藤原翔・田中理絵・都村聞人)

## 「子どもの自殺」をどう考えるか

10月22日(日) 13:30-16:30

会場: 31 番教室

1998年に年間自殺者数が3万人を超え、自殺が社会問題となつてずいぶん経つ。2009年以降は自殺者数が落ち着いてきているが、自殺対策の機運はやまない。

このような状況下、自殺の社会学的研究において、「子ども」という視点での議論はあまり進んでいないのが現状ではないだろうか。全自殺者数に占める未成年者の割合は約2%、小中高校生では年間300人程度ということもあり、子どもの自殺は、自殺をめぐる議論の中では等閑視されがちである。教育社会学会員の間でも、子どもと自殺というテーマは、いじめ自殺問題の社会的構築という切り口を除いて、あまり積極的に問題化されていないように見える。

学校という場が自殺を生んでしまう面もあれば、自殺予防対策のひとつの拠点(自殺予防教育)と期待されている面もある。自殺のリスク層と非行や不登校層との異同、貧困や社会的排除との関係性といった切り口も予感される。子どもの自殺予防や予防教育をめぐる議論が進みつつある現状において、こういった現実を、教育社会学的な視点から考察することの意味はあるように思われる。

その際、学校段階や就学/就労の別等といった社会的・制度的地位や、責任年齢や成人年齢といった年齢と相関した法的地位によって、社会保障や責任問題などに関連して大きく問題の構図が変わりうる。また、自殺を意志ではなく精神障害に起因すると見なす趨勢において、「子どものうつ」に注目が集まる一方で、子どもが精神障害になるということ自体への抵抗感も未だあるように、「子ども」の扱いは一筋縄では行かない。こういった点を考えたとき、子ども期の格差・社会的排除や学校問題や子ども観に関して議論を蓄積してきた教育社会学が、それらの成果を応用・発展する形で自殺というテーマで考えるべき点、自殺研究に貢献できる点は多々あるのではないか。また、すでに一定の蓄積のある構築主義的研究からも、新たな視点が提供できるだろう。

本課題研究では、以上のような自殺対策と大人の自殺の社会学的研究の潮流や、子どもの自殺対策や自殺予防教育の現実をフロアと共有した上で、そこで捉えきれない子どもの自殺固有の問題は何か、そこに教育社会学は何ができるのかを議論したい。

司会: 伊藤茂樹(駒澤大学)

報告1: 元森絵里子(明治学院大学)

「子どもの自殺の社会学の可能性をめぐる」

報告2: 北澤 毅(立教大学)

「子どもの自殺: 責任帰属をめぐる」

報告3: 川野健治(立命館大学)

「自殺予防と学校」

討論者: 西田芳正(大阪府立大学)

(研究委員: 鶴田真紀・元森絵里子・越智康詞・松田恵示)



## 大学IRスタンダード指標集 ——教育質保証から財務まで

関東地区IR研究会 監修  
松田岳士、森雅生、相生芳晴、姉川恭子 編著  
汎用性と将来における活用性に着目した139の指標を取り上げ、活用例、算出方法、必要なデータなどを見開きで示す。IR担当者必携。  
B5判並製・296頁 本体2,800円

## 未来の学校 ——テスト教育は限界か

トニー・ワグナー 著  
陳玉玲 訳  
これからの社会で本当に生き残るための七つのスキルとは。学校や教師の役割とは。アメリカの事例から日本の教育のあり方を考える。  
四六判並製・432頁 本体3,200円

## 大学教育再生とは何か ——大学教授職の日米比較

有本章 著  
中世の大学から近代の大学に至る歴史に学びつつ、米国と比較した日本の大学や大学教授職の現状と課題を社会学的に分析する。  
A5判上製・592頁 本体6,200円

## 高等教育の社会学

パトリシア・J・ガンボート 編著  
伊藤彰浩、橋本鈺市、阿曾沼明裕 監訳  
バートン・クラークの論文を出発点とし、アメリカの高等教育の動向を社会学的に研究。15名の第一線の研究者が今後の課題や展望を示す。  
A5判上製・480頁 本体5,400円

玉川大学出版部 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 TEL 042-739-8935 FAX 042-739-8940 [価格税別]

的確に社会を読みとり、課題に挑む

# 社会と調査

## No.18 特集 パラデータの活用に向けて

データ取得プロセスの分析から調査を改善する 松本 渉  
パラデータ概念の誕生と普及 ミック・P・クーバー、松本 渉訳  
訪問調査における調査員訪問記録の活用について 前田忠彦  
なぜ調査員の訪問記録を分析するのか 保田時男  
電話調査におけるパラデータの活用 城川美佳  
ウェブ調査におけるパラデータの有効利用と今後の課題 大隅 昇・林 文・矢口博之・猿原勝史

山岡和枝/橋 純子/大西宏治/丹迎宣彦/川窪耕平/福田洋平/中野康人/石田 淳/安達正嗣/山崎聖子/岩井紀子/渡辺秀樹/片瀬一男/宮島 高/飽戸 弘/田辺俊介/吉田 崇/町村歌志/稲増一憲/原 純輔/筒井淳也/藤原 翔/片野洋平

**購入方法** 『社会と調査』は年2回発売(3月,9月)

- 1 研究室や図書館などでの定期購読をおすすめします。発売元の京都通信社にメールでお申し込みください。
  - 2 個人購読は、もよりの書店を通じてお申し込みください。
- ※会員の方がたには、特典の1つとして無料配布しています。  
※社会調査協会では販売を行っていません。



定価 本体1,200円+税

発行・編集 一般社団法人 社会調査協会

東京都文京区本郷 5-25-18 メゾン 鈴博 3F (113-0033)

TEL: 03-6273-9784 FAX: 03-5684-0374

<http://jasr.or.jp/>

入会申し込みについては、本協会ホームページをご覧ください。

制作・販売 株式会社 京都通信社

京都市中京区室町通御池上る御池之町 309 (604-0022)

TEL: 075-211-2340 Mail: [shigotoba@kyoto-info.com](mailto:shigotoba@kyoto-info.com)

<http://www.kyoto-info.com/>

書店にない場合は、京都通信社までお問い合わせください。

# 「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料  
A5判、二三八一円十税

№49 (第46回教育展望セミナー) 2017年7月発行、124頁  
資質・能力を育成する教育課程の編成と実施  
№48 (第45回教育展望セミナー) 2016年7月発行、124頁  
これからの時代に求められる資質・能力、学校教育の質を問う

## 研究紀要

B5判

第97号 アクティブラーニング実践上の課題

Ⅰ主体的・対話的で深い学びの実現をめざしてⅠ

2017年7月発行予定、106頁、972円十税

第96号 小・中学校における「カリキュラムマネジメント」の現状と今後の課題

2016年7月発行、106頁、972円十税

第95号 小・中学校における「アクティブラーニング」の現状と今後の課題

2015年7月発行、122頁、972円十税

# 月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、四四八円十税

2017年 特集

10月号 情報教育特集

9月号 新教育課程が求める教師力

7・8月合併号 改めて問う「学び方・教え方」の視座

6月号 新学習指導要領で教科はどのように変わるか2

5月号 新学習指導要領で教科はどのように変わるか1

4月号 新学習指導要領への対応

3月号 次期学習指導要領答申を読み解く

1・2月合併号 次期学習指導要領から日本の教育を展望する

2016年 特集

12月号 第45回教育展望セミナー 分科会報告

11月号 第45回教育展望セミナー 全体会報告

## 教育調査研究所

[理事長 新井郁男]

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10  
TEL : 03-3238-6974 FAX : 03-3238-6975  
E-Mail : chouken@estate.ocn.ne.jp

一般財団法人



# 教育新聞

## 電子版アプリが、

電子版アプリ  
教育ニュースを  
毎日配信

# 新しく生まれ変わりました!

- ニュース解説や連載がさらに見やすく。
- 記事が配信されたらお知らせが届きます。
- 気になる記事はワンタッチで保存できます。



小・中・高校教師100万人のための

# 教育新聞

# 現代の社会教育と生涯学習 [新版]

松田武雄 編著

A5判・272頁・2,800円

# フリーピンの価値教育

長濱博文

A5判・316頁・4,000円

# 教育社会学 第三のソリューション

ハルゼー他編／住田正樹・秋永雄一・吉本圭一 編訳

A5判・672頁・8,700円

# ピア・パワー 子どもの仲間集団の社会学

アドラー夫妻／住田正樹 監訳 A5判・452頁・4,000円  
激しく揺れ動く子どもの社会的世界を8年間の参与観察を通して解明した子ども社会学の不朽の名著、待望の翻訳ついに成る。

# 子ども社会学の現在 いじめ・問題行動・育児不安の構造

住田正樹 A5判・328頁・3,800円  
いじめ、学級崩壊、教師の指導力問題、親の育児不安……。現代の子ども観の変容に着目し、学校・家庭・仲間集団における諸問題の要因を分析する。

# リトルリーグの社会学 前青年期のサブカルチャー

G.A. ファイン／住田正樹 監訳 A5判・360頁・3,800円

# 移民とドイツ社会をつなぐ教育支援 異文化間教育の視点から

伊藤亜希子 A5判・274頁・4,200円  
他者を受け入れ、ともに生きる社会を構築する——ドイツにおける異文化間教育の理念と教育支援の実践を学ぶ。

# ディルタイから教育実践へ アクティブラーニングの源流

森 邦昭 A5判・366頁・5,200円  
学級崩壊、学力低下など教育現場の課題に精神科学の視点から突破口を探る。能動的学習をさそう授業法のヒントがここに。

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-8-34-305  
☎ 092(833)9150 E-mail:sales@kup.or.jp 〈価格税別〉

九州大学出版会

## 平井悠介

「九〇年代のシベリアン教育論への関心の高まりが意味するものは——社会的平等という視点からシベリアン教育論の地平を探る」

◎現代アメリカ教育哲学における平等論の変容 3400円

## 吉川卓治

「貯金はどのように習得化されたか——学校と子どもお金、そして国家経済の交差を明らかにする」

## 「子ども銀行」の社会史

◎学校と貯金の近現代 2400円

## 平井秀幸

「フリーの統治性論と社会的法的フィールドワークを駆使し、刑務所内業物犯罪者処遇を批判的に考察」

## 刑務所処遇の社会学

◎認知行動療法・新自由主義的規律・統治性 6200円

## 北村和夫

「近代学校のあり方をルーマン社会学を創造的に応用して解明する」

## オートポイエーシスとしての近代学校

◎その構造と作動メカニズム 2800円

## 下司晶川編

「甘えと「自律」の教育學」

◎ケア・道徳・関係性 2000円

## 広田照幸・宮寺晃夫編

「教育システムと社会」

◎その理論的検討 3600円

## 平野 亮

「能力開学のアルケオロジ」

◎骨相學 3200円

## 岡田敬司

「共生社会への教育学」

◎自律・異文化葛藤・共生 2400円

## 広田照幸

「格差・秩序不安と教育」

◎自律・異文化葛藤・共生 3600円



世織書房

〒220-0042 横浜市西区戸部町7-240 文教堂ビル3階 TEL045-317-3176 / FAX045-319-0644

seori@nifty.com http://seorishobo.com

〈税抜〉



世織書房



# アクティブ・ラーナーを 育てる高校

## アクティブ・ラーニングの実態と最新実践事例

中原 淳 + 日本教育研究イノベーションセンター 編著

「高校生たちを“アクティブ・ラーナー (Active learner)” に育て上げる学校を、いかにつくっていくか」について様々な角度から探究。

高校でのアクティブ・ラーニング推進のためのヒントが盛り沢山。ALの実態、導入に際しての悩み、学校や自治体での先進事例などを分かりやすく解説。

本書の区別 (目次あり)

- 1 なぜ、今、高校でアクティブ・ラーニングなのか  
アクティブ・ラーナーを育てる高校—中原 淳  
【対談】授業改革は学校改革に通ず 下町壽男×中原 淳
- 2 高校でのアクティブ・ラーニング推進の実態  
【管理・運営の面から】【参加型授業の実施・取組状況】
- 3 高校の先生たちは、どこで悩んでいるのか  
—どうする？ アクティブ・ラーニング！ : 先生のための相談室
- 4 学校・自治体での先進事例
- 5 学びを考えるためのキーワード10



■ A5判 / 176ページ  
■ 定価 (本体1,800円+税)  
■ ISBN978-4-7619-2307-5

高校管理職

ホームページからもご注文できます <http://www.gakuji.co.jp>

学事出版 千代田区外神田2-2-3 TEL03-3253-4626 FAX03-0120-655-514

## ベネッセの調査・研究活動

ベネッセ教育総合研究所では、子どもたちのよりよい生活や育ちの環境、学習のあり方を追究していくために、子育て・教育のさまざまな側面に焦点をあてて調査・研究を行っています。

- 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究  
「子どもの生活と学び」研究プロジェクト(親子パネル調査)  
「子どもの生活と学びに関する親子調査2015-2016」速報版

東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所は、2014年に全国の小学1年生～高校3年生の子どもとその保護者約2万1千組の調査モニターを対象に、毎年1回以上の定期的な調査(親子パネル調査)を実施する共同研究プロジェクトを発足しました。

本速報版では、その第1回(Wave1)・第2回(Wave2)の追跡調査をもとに、12学年の子ども「学習」の実態と1年間の変化を明らかにしました。今後も毎年、同じ子どもと保護者を調査し、子どもの生活や学習、保護者の子育ての様子など、親子の「成長・発達」とその因果関係を明らかにしていきます。

- 第6回 学習指導基本調査

本調査は、小学校・中学校・高校における学習指導の実態と教員の意識など、広く学校の実態をとらえることを目的としています。

小学校は1998年、中学校は1997年、高校は2010年から調査を実施しており、経年比較と学校段階間の比較が可能なが大きな特徴です。

調査結果から、転換期にある学校・教員の姿が浮かび上がっています。



ベネッセ教育総合研究所で実施している各調査結果は、以下のウェブサイトにてご覧いただく、報告書などのタイトルでご検索ください。 \* 調査報告書の販売はしておりません。ご了承ください。

<http://berd.benesse.jp/>

石田浩 監修・編

A5判上製296頁 本体3000円 ISBN978-4-325-64882-5

## 教育とキャリア

「シリーズ 格差の連鎖と若者①」

若者たちの自立をうながす要因／阻む要因、その構造を解明する。

石田浩 監修／佐藤博樹 編

A5判上製200頁 予価2800円 ISBN978-4-325-64883-2

## 出会いと結婚

「シリーズ 格差の連鎖と若者②」

未婚から既婚への移行と親役割の取得を分析し、現実を読み解く。

石田浩 監修／佐藤 香 編

A5判上製272頁 本体2800円 ISBN978-4-325-64884-0

## ライフデザインと希望

「シリーズ 格差の連鎖と若者③」

若者の自立をめぐる意識を分析しつつ、社会にできることを考える。

小玉重夫

四六判上製240頁 本体2900円 ISBN978-4-325-29911-9

## 教育政治学を拓く

18歳選挙権の時代を見すえて

教育の再政治化を視野に入れた、新たな教育学の方向性を提示する。

堀 有喜衣

A5判上製240頁 本体4000円 ISBN978-4-325-60283-3

## 高校就職指導の社会学

「日本型」移行を再考する

選抜・配分機能と、都市／地方の地域性の違いを含めた分析を行う。

久富善之・長谷川 裕・福島裕敏 編著

A5判上製350頁 予価4200円

## 教師の責任と就職論理

※近刊

全国10地域と震災被災地の教師への質問紙調査による実証分析。

教育思想史学会 編

A5判上製900頁 予価8200円

## 教育思想事典 増補改訂版

※近刊  
近年の研究成果や新項目を大幅に加えた「読む事典」の最新版!

\*表示価格は税抜



勁草書房

<http://www.keisoshobo.co.jp>

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854



有斐閣

東京・神田・神保町2 TEL. 03-3265-6811  
http://www.yuhikaku.co.jp/

◎図書目録送呈◎

## 殻を突き破るキャリアデザイン

就活 将来の思い込みを解いて自由に生きる

四六判 一八三六円

筒井美紀 著  
激動の時代を生き抜くために必要となる具体的な知恵や実践可能なアイデアを紹介。

## はじめてのジェンダー論

加藤秀一 著  
有斐閣ストウディア 一九四四円

ジェンダーの基礎から最新動向まで、軽妙な講義調で解き明かす。

## 質的社会調査の方法

他者の合理性の理解社会学

岸政彦・石岡丈昇・丸山里美 著  
社会調査つてももしろい! 有斐閣ストウディア 二〇五二円

## 現代社会論

社会学で探る 私たちの生き方

本田由紀 編  
有斐閣ストウディア 一九四四円

## 「働くこと」を産業・労働社会学

社会学する 小川慎一・山田信行・金野美奈子・山下 充 著  
有斐閣アルマ 二四八四円

## 犯罪・非行の社会学

常識をとらえなおす視座

岡邊健編  
有斐閣ブックス 二五九二円

## 教育の社会学 [新版]

《常識》の問い方 見直し方

苅谷剛彦・濱名陽子・木村涼子・酒井朗 著  
有斐閣アルマ  
◎書籍版 二一六〇円 / ◎電子書籍(PDF版) 二一六〇円

詳しくは有斐閣ホームページでデジタル

**最新刊** 学生エリート養成プログラム―日本・アメリカ・中国  
北垣郁雄編著  
A5・上製・三三八頁・三六〇〇円

**最新刊** 高等専修学校における適応と進路  
後期中等教育の  
セブンアユネット  
伊藤秀樹著  
A5・上製・三三六頁・四六〇〇円

**最新刊** 社会を創る市民の教育―協働によるシテイズン  
シツプ教育の実践  
大友秀明・桐谷正信編  
A5・並製・二七二頁・二五〇〇円

**最新刊** 多様性と向きあうカナダの学校  
移民社会が目指す教育  
児玉奈々著  
A5・上製・二二六頁・二八〇〇円

**最新刊** 英国の教育  
詳細なクローツサリ―索引・豊富な写真・図版など  
読者に便利な工夫満載の最新コンパイル本・読む事典。  
日英教育学会編  
A5・上製・三三八頁・三四〇〇円

**最新刊** 統一ドイツ教育の多様性と質保証―日本への示唆  
坂野慎二著  
A5・上製・二二四頁・二八〇〇円

**最新刊** カナダの女性政策と大学  
犬塚典子著  
A5・上製・二八八頁・三九〇〇円

**最新刊** チュートリアルスの伝播と変容―イギリスからオース  
トラリアの大学へ  
竹腰千絵著  
A5・上製・二二四頁・二八〇〇円

**最新刊** タイの人権教育政策の理論と実践―人権と伝統的多様  
な文化との関係  
馬場智子著  
A5・上製・二〇〇頁・二八〇〇円

**最新刊** アセアン共同体の市民性教育  
平田利文編著  
A5・上製・三二五頁・三七〇〇円

**最新刊** 放送大学に学んで―未来を拓く学びの軌跡  
放送大学中国・四国ブロック学習センター編著  
四六・並製・三二二頁・二〇〇〇円

**最新刊** 社会に通用する持続可能なクティブラーニング  
ICEモデルが大学と社会をつなぐ  
土持ゲリー法一著  
A5・並製・三三三頁・二〇〇〇円

**最新刊** ICEモデルで拓く主体的な学び―成長を促すフレーム  
ワークの実践  
柞磨昭孝著  
A5・並製・三三三頁・二〇〇〇円

**最新刊** グローバリゼーションとカリキュラム改革  
海外の研究者が見た「総合的な学習の時間」  
L・マクドナルド著  
A5・上製・二〇八頁・二七〇〇円

**最新刊** アメリカ公立学校の社会史―NCLB法まで  
W・J・リース著 浅沼茂・小川佳万監訳  
A5・上製・五二八頁・四六〇〇円

**最新刊** アメリカ 間違いがまかり通っている時代  
公立学校の企業型改革への批判と解決法  
D・ラヴィッツ著 未藤美津子訳  
A5・上製・五三六頁・三六〇〇円

**最新刊** 東アジアの大学・大学院入学者選抜制度の比較  
中国・台湾・  
韓国・日本  
南部広孝著  
A5・上製・二〇八頁・三二〇〇円

**最新刊** 東アジアにおける留学生移動のパラダイム転換  
大学国際化と「英語プログラム」の日韓比較  
嶋内佐絵著  
A5・上製・三二二頁・三六〇〇円

**最新刊** 高等教育機会の地域格差  
地方における高校生の大学進学行動  
朴澤泰明著  
A5・上製・三九二頁・五六〇〇円

**最新刊** 戦後日本の教育構造と力学―「教育」トライア  
ン  
河野員博著  
A5・上製・二七二頁・三四〇〇円

**最新刊** 発達障害支援の社会学―医療化と  
実践家の解釈  
木村祐子著  
A5・上製・二四〇頁・三六〇〇円

**最新刊** 教育と比較の眼(仮)  
制定過程と今日の状況  
江原武一著  
田中弘允著  
佐藤博明著  
田原博人著  
元学長の慇懃と提言

## ようこそ、一人ひとりをいかす教室へ

—「違い」を力に変える学び方・教え方— C. A. トムリンソン著 山崎敬人・山元隆春・吉田新一郎訳 A5・260頁・本体2400円＋税 一人ひとりの児童生徒がもつ違い（学習進度や興味関心等）を大切にしたいという思いに、理論と実践の両面からしっかりと応える。個々のニーズに応じる質の高いカリキュラムや授業デザイン等、具体的な提案が満載。

## パワフル・ラーニング

—社会に開かれた学びと理解をつくる— L. ダーリン格・ハモンド編著 深見俊彦翻訳 A5・272頁・本体2600円＋税 主体的・対話的な深い学びには、批判的思考、知識の転移・活用等のパワフル・ラーニングが求められる。その授業デザインを、PBL学習、協同学習、パフォーマンス評価で解説。教室の内外で「柔軟な問題解決者」になるための知見を紹介。

## 北大路書房

〒603-8303

京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

http://www.kitaohji.com

振替 01050-4-2083

## アクティブラーニングのための心理学

—教室実践を支える構成主義と社会的学習理論— A. プリチャード・J. ウーラード著 田中俊也訳 四六・184頁・本体2200円＋税 主体的な学び手を育てるための理論と技法を紹介。ヴィゴツキーやブルーナーを背景に、「学習者間でモニターしあった共同作業」が「いかに効果的な学習環境をつくることになるのか」を事例研究を交えて解説。

## ひとはもともとアクティブ・ラーナー!

—未来を育てる高校の授業づくり— 山辺恵理子・木村 充・中原 淳編著 堤 ひろゆき・田中智輝著 B5・160頁・本体2200円＋税 アクティブラーニングに不安や課題を抱える全国の高校教師をサポートするために生まれた実践的ガイドブック。2414校の調査データの分析結果、厳選された教科毎の授業実践例や紙上ワークショップをカラフルに提供。

心理学って面白そう!  
どんな仕事で活かされている?

### シリーズ 心理学と仕事 [全20巻]

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・約160～220頁・子価2000～2600円＋税

1 感覚・知覚心理学	2 神経・生理心理学	3 認知心理学	4 学習心理学	5 発達心理学
6 高齢者心理学	7 教育・学校心理学	8 臨床心理学	9 知能・性格心理学	10 社会心理学
11 産業・組織心理学	12 健康心理学	13 スポーツ心理学	14 福祉心理学	15 障害者心理学
16 司法・犯罪心理学	17 環境心理学	18 交通心理学	19 音響・音楽心理学	20 ICT・情報行動心理学

## ハーベスト社

東京都西東京市向台町二十一-15 千 188-0013  
電話 02-467-6441 mail: mail@harvest-sha.co.jp

## 【最新刊】 佐川佳南枝 記憶と感情のエスノグラフィー 認知症とコロナ症候群のフィールドワークから

本体価格2600円

本書では、認知症高齢者の弱さの部分ではなく、むしろ強さに着目している。つまり記憶を失い、自己が曖昧化していくことに抗して自己をなんとか持ち続けようとし、他者との関係性をつないでいこうとする力に焦点を当てている。彼らが弱まる記憶を補充しながら残存する感情を駆使して、どのように関係性を維持、形成しているのか。そうした認知症高齢者の記憶と感情をもとにした関係性形成のありよう、に原初的な社会の形成原理が見えてくるのではないかと考える。

## 【近刊】 鶴田真紀 発達障害の教育社会学 教育実践の相互行為研究

本体価格予価2700円

発達障害は、医学的には個人の身体に内在するものとして定義される。しかし、社会的な次元においては、人びとはそのような定義のままに障害を経験しているわけではない。本書は、教師や児童、さらには療育者が、ある特定の児童と関わる実践を詳細に検討し、発達障害が人々の相互行為や場の組織化を通じて社会的な構成物であることを示す。そしてさらに、本書はその意味を問うのである。

- 序 章 発達障害と教育の現在
- 第1章 発達障害と教育への視点
- 第2章 自閉症児の言語獲得をめぐる相互行為を系列
- 第3章 〈障害児であること〉の相互行為形式
- 第4章 児童間相互行為における非対称性の組織化
- 第5章 ADHD児の問題行動と服薬をめぐるエスノグラフィー
- 補 章 ワタルの「できなさ」をめぐる短い考察
- 終 章 発達障害の教育社会学

## 「大学改革」という病

学問の自由・財政基盤・競争主義から検証する

山口裕之 著 ○2500円

## 批判的教育学事典

マイケル・W・アップル、ウェイン・アウル、レイ・アルマンド・ガンティン 編  
長尾彰夫、澤田稔 監修 ○2500円

## 外国人の子ども白書

権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から  
荒牧重人、榎井縁、江原裕美、小島祥美、志水宏吉、  
南野奈津子、宮島喬、山野良一 編 ○2500円

## 社会的困難を生きる若者と学習支援

リテラシーを育む基礎教育の保障に向けて  
岩槻知也 編著 ○2800円

## トランスナショナル移民のノンフォーマル教育

女性トルコ移民による内発的な社会参画  
丸山英樹 著 ○6000円

## ヨーロッパにおける移民二世代の学校適応

スーパー・ダイバーシティへの教育人類学的アプローチ  
山本須美子 編著 ○3600円

## 移民の子どもと学校

統合を支える教育政策

OECD 編著 布川あゆみ、木下江美、斎藤里美 監訳  
三浦綾希子、大西公恵、藤浪海 訳 ○3000円

## 21世紀のICT学習環境

生徒・コンピュータ・学習を結び付ける  
経済協力開発機構(OECD) 編著 国立教育政策研究所 監訳 ○3700円

## 学びのイノベーション

21世紀型学習の創発モデル  
OECD教育研究革新センター 編著  
有本昌弘 監訳 多々納誠子、小熊利江 訳 ○4500円

## 21世紀型学習のリーダーシップ

イノベティブな学習環境をつくる  
OECD教育研究革新センター 編著 木下江美、布川あゆみ 監訳  
斎藤里美、本田伊克、大西公恵、三浦綾希子、藤浪海 訳 ○4500円

## アートの教育学 革新型社会を拓く学びの技

OECD教育研究革新センター 編著  
篠原康正、篠原真子、巽若晶 訳 ○3700円

## 諸外国の教育動向 2016年度版

文部科学省 編著 ○3600円

# 明石書店

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5 \*目録送呈  
<http://www.akashi.co.jp/> 振替00100-7-24505

TEL. 03-5818-1171  
FAX. 03-5818-1174

## 女性・人権・生きること

——過去を知り 未来をひらく

●天童睦子 著 A5判 \* 96頁 ▼本体1000円

## 男子問題の時代?

——錯綜するジェンダーと教育のポリティクス

●多賀太 著 四六判 \* 240頁 ▼本体2200円

## 教師の声を聴く

四六判 \* 384頁 ▼本体3200円

——教職のジェンダー研究からフェミニズム教育学へ

●浅井幸子・黒田友紀・杉山二季・玉城久美子

柴田万里子・望月一枝 編著

## 大学生のキャリアとジェンダー

——大学生調査にみるキャリア支援への示唆

●谷田川ルミ 著 A5判 \* 196頁 ▼本体2700円

## ジェンダー化社会を超えて

——教育・ライフコース・アイデンティティ

四六判 \* 234頁

●望月重信・春日清孝・原史子 編著 ▼本体2300円

教師のための教育学シリーズ ⑩

## 子どもと教育と社会

●教師のための教育学シリーズ編集委員会 監修

腰越滋 編著 A5判 \* 202頁 ▼本体2100円

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1

<http://www.gakubunsha.com>

## SDGsと開発教育

——持続可能な開発目標のための学び

●田中治彦・三宅隆史・湯本浩之 編著

A5判 \* 304頁 ▼本体3000円

## 比較教育社会学へのイメージ

●原清治・山内乾史・杉本均 編著

A5判 \* 264頁 ▼本体2200円

## 学修支援と高等教育の質保証Ⅱ

●山内乾史・武 寛子 編著

四六判 \* 234頁 ▼本体2300円

## 教材にみる岡山秀吉の 手工科教育論の特質と意義

——戦前日本の手工科教育論の特質と意義

●平館善明 著 A5判 \* 434頁 ▼本体8200円

## 戦後日本の女性教員運動と 「自立」教育の誕生

——奥山えみ子に焦点をあてる

●木村松子 著 A5判 \* 306頁 ▼本体3800円

TEL 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012  
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

# 学文社





第13回

# 児童教育実践についての研究助成

## Web応募受付中

締切／2017年10月31日(火)

詳細については博報財団ホームページをご覧ください。

[www.hakuhofoundation.or.jp/](http://www.hakuhofoundation.or.jp/)

博報財団

検索

### 対象となる研究

- 「ことばの教育」に関する研究
- 児童教育実践の質を向上させる研究

### 助成金額

- 1件につき300万円を限度に助成します

### 応募資格

- 日本の大学・研究機関に所属する研究者（教授職を除く）
  - 日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方
- ※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。

### 助成期間

- 2018年4月1日～2019年3月31日
- 助成期間終了後、研究（代表）者が希望する場合は継続助成の申請をすることができます

### 【審査委員】

(五十音順) ＊は審査委員長

楠見 孝 京科大学大学院 教授 本郷 一夫 東北大学大学院 教授＊  
針生 悦子 東京大学大学院 教授 横山 詔一 国立国語研究所 教授  
藤森 裕治 信州大学 教授

公益財団法人

博報児童教育振興会

HAKUHO FOUNDATION

〒1107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8階 TEL.03-5570-5008 FAX.03-5570-5016

# SAGE video

SAGE Video は、最先端の社会科学の研究指向の学術ビデオを提供する、ビデオストリーミングコレクションであり、SAGE 書籍・ジャーナルの著者をはじめとする研究者、学会、実務家の協力および監修のもと開発されています。

各コレクションには、ケーススタディ、チュートリアル、著名研究者へのインタビュー、ドキュメンタリー、実際の現場での応用例など、学部生から大学院生まで幅広くサポートするための、さまざまな種類や時間枠のビデオが収録されています。

- 英語字幕付き：字幕箇所をテキストとして、そのまま授業教材へ活用可能です。
- 切り取り・埋め込み機能：授業に必要な箇所の切り取りや、シラバスや学習管理システムとの連携・科目ナンバリングにも対応しています。



[sk.sagepub.com/video](http://sk.sagepub.com/video)

授業・自習向け推奨コレクション（一例）：研究調査法／教育学／社会学 など

■ SAGE Video 無料トライアルのお問い合わせ：[saplibrarymarketing@sagepub.co.uk](mailto:saplibrarymarketing@sagepub.co.uk)

【数理社会学会創立 30 周年記念共同出版】

学術論文集成

## 現代の日本の社会学（全3巻）

### Contemporary Japanese Sociology Three Volume Set

Chief Editor: **Jun Kobayashi** (Seikei University)

Editors: **Junya Tsutsui** (Ritsumeikan University), **Masayuki Kanai** (Senshu University)

Preface: **Naoki Sudo** (Gakushuin University)

Dec-2017 | Hardcover | 840 pages | セット予約概価 76,010 円（本体）

現在の日本の社会学の到達点を明らかにし、将来の方向性を展望する学術論文集成です。第1部は社会的不平等に焦点を当て、教育、労働、家族、文化活動などの実証研究を収録しています。第2部には数理社会学と社会学における合理的選択論など、理論を扱う論文が収められています。本書によって日本の社会学と世界の社会学が橋渡しされ、今後の新たな地平が展望されるでしょう。

■ 書籍のご注文は販売代理店までお願いいたします。

商品の価格・内容は改定・変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

セイジ・パブリケーションズ日本支社

e-mail: [sagejapan@sagepub.co.uk](mailto:sagejapan@sagepub.co.uk) twitter: @sagepubjapan

[www.sagepublishing.com](http://www.sagepublishing.com)

# 時事通信社の教育関係書

## 教育学の試み

多様な文化に開かれた人間形成をめざして

■中村清 [著]

宗教・民族対立、貧困・格差問題を越えて  
平和に共存する人間を形成する教育とは？



- 第I部 教育とは何か
- 第一章 教育の概念
- 第二章 発達段階と教育
- 第三章 社会化と教育
- 第四章 教育の諸相
- 第五章 道徳教育
- 第II部 これからの公教育
- 第六章 学校教育
- 第七章 教育と政治
- 第八章 多文化国家の公教育

■四六判・232頁  
■定価：本体1,600円＋税

## 「迷惑施設」としての学校

近隣トラブル解決の処方箋

■小野田正利 [著]

近隣トラブルに悩む学校、幼稚園、保育園が近年増加。  
「要望」→「苦情」→「無理難題」をどうやって受け止めるか。



学校がごみ焼却場や刑務所のように「社会には必要だが、自分の家の近くには作ってほしくない公共施設」となっている!? 一平穏な生活を望む住民と、次代の社会を担う子どもたちの生育環境を保障する学校のあり方の「折り合い」をどこに置くべきか。  
「学校のイチャモン研究」の第一人者が日本各地で起こっているトラブルを元に解決方法を提言する。

■四六判・208頁  
■定価：本体1,400円＋税

## 漱石を電子辞書で読む

ジャンプ3回、語彙力アップ!

■齋藤孝 [著]

電子辞書片手に漱石に踏み入る。  
「坊っちゃん」はこんなに深かった!!



言葉にこだわると、ストーリーを追って読んでいた時には見えなかった「坊っちゃん」や「こころ」の世界が現れる。  
電子辞書を使えば漱石の言葉の深く、広い世界に簡単に触れられる。  
語彙力は飛躍的にアップする。  
その手法を紹介し、電子辞書を持っていない人も、本書で体験できます!

■四六判・268頁  
■定価：本体1,400円＋税

## 復刻新装版 憲法と君たち

■佐藤功 [著] / 木村草太 [解説]

憲法を知りたいすべての子どもたちと、  
憲法が気になるすべての大人たちへ



日本国憲法がまだ「新憲法」と呼ばれていた60年前。「憲法の生みの親」が、子どもたちに一冊の本を残していた。  
憲法の原理と精神をやさしく語り掛けるように解説し、「憲法が君たちを守る。君たちが憲法を守る」と呼び掛ける本だった。  
日本国憲法が誕生して70年の今、気鋭の憲法学者・木村草太首都大学東京教授の解説を付け、幻の名著を「復刻新装版」として刊行!

■四六判上製・204頁  
■定価：本体1,200円＋税

日本の課題を読み解く

## わたしの構想II 中核層へのメッセージ

■NIRA総合研究開発機構 [編]

新ビジネスの波 / 働き方の変革 / 政治への参加 /  
世界と日本—— について「論点満載」



- 一つのテーマに対して多様な見解が紹介されているため、高校や大学での演習等での読解力や思考力を鍛え、自説を考えさせるための教材としてピッタリ。
- アクティブ・ラーニングを実践する際の教材としても最適。
- 興味のある話題だけを決め打ちして読んでもおもしろい。

■B5判・136頁  
■定価：本体900円＋税

画期的な海外の課題解決ヒント集

## hints 課題「解決」先進国を目指せ

■谷口将紀 [監修] / NIRA総合研究開発機構 [編]

先進事例から日本が学ぶべきこと  
海外の課題解決ヒント集



政府債務や少子高齢化などを背景に、負担増と給付減、雇用の流動化といった「負担の分かち合い」が、近い将来、日本の政治課題になることは避けられない。  
日本が課題先進国から課題「解決」先進国へ変わるためにはどうすればよいか。オランダ、ドイツ、デンマーク、カナダ、イギリスの先進各国での改革事例から、日本へのヒントを考察する。

■A4判・80頁  
■定価：本体900円＋税



時事通信出版局

〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル4F ●Tel.03-5565-2155 ●Fax.03-5565-2168 ●http://book.jiji.com



2017年8月30日発行

発行者 日本教育社会学会 第69回大会実行委員会  
〒186-8601 東京都国立市中2-1  
一橋大学大学院・社会学研究科・山田哲也研究室  
E-mail:kyosya2017@gmail.com  
TEL: 042-580-8276(山田哲也研究室)

印刷所 よしみ工産株式会社

# 教育社会学の フロンティア

全2巻

〔10月刊〕以下は予定目次です A5判 予価本体各3200円

## 第1巻 日本教育社会学会編、本田由紀・中村高康 責任編集

### 学問としての展開と課題

- 序論 日本の教育社会学の70年 中村高康
- 第1部 教育社会学の再検討（刈谷剛彦、広田照幸、矢野眞和、酒井朗）
- 第2部 教育社会学の理論と方法（久富善之、中澤涉、北澤毅、今田絵里香）
- 第3部 教育社会学の新たな課題（倉石一郎、岡本智周、仁平典宏、筒井義紀、木村元）
- まとめと展望 本田由紀

## 第2巻 日本教育社会学会編、稲垣恭子・内田良 責任編集

### 変容する社会と教育のゆくえ

- 序論 日本の教育現象をどう読むか 稲垣恭子
- 第1部 日本の教育システムの変容と現在 荒牧草平、平沢和司、堀有喜衣、井上義和
- 第2部 学校のゆらぎと再編（伊藤茂樹、山田哲也、多賀太、古賀正義）
- 第3部 教育と文化のゆくえ（元森絵里子、片岡栄美、志水宏吉、山田浩之、加野芳正）
- まとめと展望 内田良

◆歴史的な転換点に立つ「教育」を根底から考える

## 岩波講座 教育変革への展望

全7巻

【編集委員】佐藤学・秋田喜代美・志水宏吉・小玉重夫・北村友人

- 1 教育の再定義
- 2 社会のなかの教育
- 3 変容する子どもとの関係
- 4 学びの専門家としての教師
- 5 学びとカリキュラム
- 6 学校のポリテイクス
- 7 グローバル時代の市民形成



A5判 本体各3200円  
〈内容案内進呈〉

## 教育劣位社会

—教育費をめぐる世論の社会学

矢野眞和・濱中淳子・小川和孝 四六判 本体2500円  
なぜ日本では公的支出が少ないのか？ 世論論から検証。

## 「ものづくり」と職業教育

—工業高校と仕事のつながり方

片山悠樹 四六判 本体2700円  
職業教育論争に一石を投じる貴重な実証研究。

## 学力格差是正策の国際比較

志水宏吉・山田哲也編 A5判 本体4200円

二一世紀の最重要イシューのひとつ「学力」をめぐる最新報告

## 教育は何をなすべきか

—能力職業市民

広田照幸 四六判 本体2400円  
「教育には何ができないか」から十年余、著者渾身の問題提起。

岩波書店



〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5  
<http://www.iwanami.co.jp/>

〔定価は表示価格+税〕

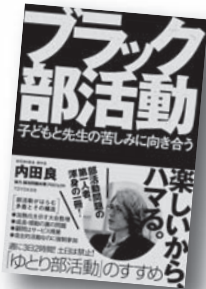
# ブラック部活動

内田良

子どもと先生の苦しみに向き合う

2017年  
7月発売!

「声」と  
「エビデンス」  
から学びたい!

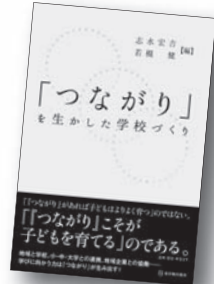


本体価格 1,400円

# 「つながり」 を生かした学校づくり

志水宏吉・若槻健 編著

地域と学校、小・中・大学との連携、  
地域企業との協働・・・。  
学びに向かう力は「つながり」が  
生み出す!



本体価格 2,000円



東洋館出版社

がんばる先生を  
応援します!

〒113-0021 東京都文京区本駒込5丁目16番7号  
TEL: 03-3823-9206 FAX: 03-3823-9208

## 学習社会学の構想

赤尾勝己 編著

A5判上製 二三八頁 二六〇〇円

〈教育社会学 (sociology of education) から  
学習社会学 (sociology of learning) へ〉

後期近代社会における生涯学習研究は、教育学にとどまらず学際的な研究分野になりつつある。新しい試みとして本書では、主として社会学を切り口に学習社会学理論を試行・展開、さらに具体的なケーススタディを取り上げて学習社会学研究の一端を提示する。

## 高等教育におけるつながり・ 協働する学習環境デザイン

—大学生の能動的な学びを支援するソーシャルメディアの活用—  
久保田賢一 編著  
A5判並製 二五四頁 二五〇〇円

## ケアリング

—倫理と道德の教育—女性の観点から—  
ネル・ノディングス 著  
立山善康・林泰成・清水重樹・宮崎宏志・新茂之 訳  
A5判上製 三三八頁 四〇〇〇円

## 第3版 道徳教育の視点

佐野安仁・荒木紀幸 編著  
A5判並製 二五八頁 二五〇〇円

## 日本の職業教育

—比較と移行の視点に基づく職業教育学—  
寺田盛紀 著  
A5判上製 二二六頁 二七〇〇円

\* 価格はすべて税別

晃洋書房

〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町7番地  
TEL 075-312-0788 FAX 075-312-7447  
http://www.koyosho.co.jp/